

平成 18 年度全国児童館実態調査結果

第1章	調査の概要	1
	調査の目的	1
	調査時期	1
	調査対象	1
	調査の内容	1
第2章	児童館運営の現状	4
1.	設立年月日	4
2.	施設の概要	5
	(1) 設置運営形態	5
	(2) 最寄りの小学校から児童館までの距離	6
	(3) 最寄りの中学校から児童館までの距離	7
	(4) 設備状況	8
	(5) 併設施設の状況	9
3.	利用人数	10
	(1) 1日平均利用人数	10
	(2) 乳幼児の1日平均利用人数	11
	(3) 小学生の1日平均利用人数	12
	(4) 放課後児童クラブ登録小学生の1日平均利用者数	13
	(5) 中・高生の1日平均利用人数	14
	(6) 保護者等の1日平均利用人数	15
4.	職員の勤務状況	16
	(1) 館長(施設長)の勤務形態	16
	(2) 児童厚生員数	17
	(3) 常勤職員の平均勤務年数	18
	(4) 非常勤職員の平均勤務年数	19
	(5) 研修計画の有無	20
	(6) 年間1人あたりの研修機会	20
	(7) 常勤職員の保育士資格保有者数	21
	(8) 常勤職員の幼稚園教諭資格保有者数	22
	(9) 常勤職員の教諭資格保有者数	23
	(10) 常勤職員のその他資格保有者数	23
	(11) 資格を保有していない常勤職員数	24
5.	開館時間・閉館時間等	25
	(1) 平日の開館・閉館時間	25
	(2) 土曜日の開館・閉館時間	26

(3)	日曜日の開館・閉館時間.....	27
(4)	春休みの開館・閉館時間.....	28
(5)	夏休みの開館・閉館時間.....	29
(6)	冬休みの開館・閉館時間.....	30
(7)	休館日.....	31
(8)	昼休み時間中の運営.....	32
6.	運営委員会等.....	33
(1)	運営委員会の開催頻度.....	33
(2)	児童館で主に活動している母親クラブの有無.....	34
(3)	児童館と母親クラブ等の連携事業.....	35
(4)	ボランティアの人数.....	36
(5)	ボランティア活用状況.....	37
7.	児童館の活動内容.....	38
(1)	児童館における取り組み.....	38
(2)	小学生の活動状況.....	39
(3)	中・高生の活動状況.....	40
(4)	中高生が自由に活動できる部屋の保有状況.....	41
(5)	子育て支援活動の実施状況.....	42
(6)	交流活動の実施状況.....	43
(7)	法人、児童館等の理念に基づく基本方針の明文化.....	44
(8)	障害児の受け入れ状況.....	44
(9)	障害児の利用に配慮した設備状況.....	45
(10)	相談等の受付件数.....	46
(11)	子ども自身からの主な相談事例.....	47
(12)	子育て相談の定期実施.....	48
(13)	関係機関等との協力.....	49
(14)	保険の加入状況.....	50
8.	放課後児童クラブについて.....	51
(1)	運営費に対する補助の状況.....	51
(2)	登録児童数.....	52
(3)	クラブの指導員数.....	53
(4)	クラブの開設日.....	54
(5)	年間総開設日数.....	55
(6)	就学日の開始時間・終了時間.....	56
(7)	学校休業日の開始時間・終了時間.....	57
(8)	専用室の有無.....	58

(9) 専用室の面積.....	58
(10) 利用できる学年.....	59
(11) 障害児の受け入れ.....	60
(12) 障害児の受け入れ枠の設定.....	61
(13) 指導員に対する研修の実施.....	61
(14) 研修を実施している場合の対象者.....	62
(15) 研修の方法.....	63
(16) 指導員に対する健康診断.....	64
第3章 児童館に関する自治体の現状.....	65
1. 自治体規模.....	65
(1) 学校数.....	65
2. 児童館の設置状況について.....	66
(1) 児童館設置の有無.....	66
(2) 児童館種別設置状況.....	67
(3) 公設公営児童館の児童館種別設置状況.....	68
(4) 公設民営児童館の児童館種別状況.....	69
(5) 民設民営児童館の児童館種別設置状況.....	70
(6) 新たな児童館の設置予定.....	71
(7) 新設する場合の運営形態.....	72
(8) 児童館の休館・廃止予定.....	73
(9) 休館・廃止の理由.....	74
(10) 児童館を設置していない理由.....	74
(11) 児童館の代替機能について.....	75
(12) 今後の設置予定.....	76
3. 次世代育成支援行動計画との関連.....	77
(1) 行動計画への児童館の明記.....	77
(2) 明記されている事業内容.....	78
4. 児童館の運営内容.....	79
(1) 児童館設置運営に関する指針やガイドラインの有無.....	79
(2) 安全管理や危機管理に関するマニュアル等の有無.....	80
(3) 職員の配置基準.....	81
(4) 児童館利用者等に対するニーズ調査.....	82
(5) 職員研修の有無.....	83
(6) 実施している場合の研修対象者.....	83
(7) 研修方法.....	84
(8) 職員に対する健康診断.....	85

第1章 調査の概要

調査の目的

平成 18 年度全国児童館実態調査に基づき、平成 18 年度における児童館の施設設備・職員・活動内容等、児童館の設備状況・運営内容等に関する自治体の現状への調査結果をまとめる。

調査時期

平成 18 年 10 月 1 日

調査対象

全市区町村、児童館

回収率 市区町村票 1,786 件 (97.7%) 児童館票 4,794 件 (96.3%)

調査の内容

本調査で利用したデータは、以下のとおり。

市区町村票

児童館の設置状況	児童館設置の有無、 児童館種 設置運営形態 新たな児童館設置予定の有無、運営形態 児童館の休館、廃止予定の有無、 休館、廃止理由 児童館設置の無い場合の理由 代替機能状況
次世代育成支援行動計画との関連	計画に児童館が明記の有無 児童館の事業内容
児童館の運営内容	設置運営の指針やガイドラインの有無 安全管理危機管理のマニュアルの有無 職員の配置基準 利用者に対するニーズ調査の実施状況 職員の研修実施状況 職員の健康診断実施状況

児童館票

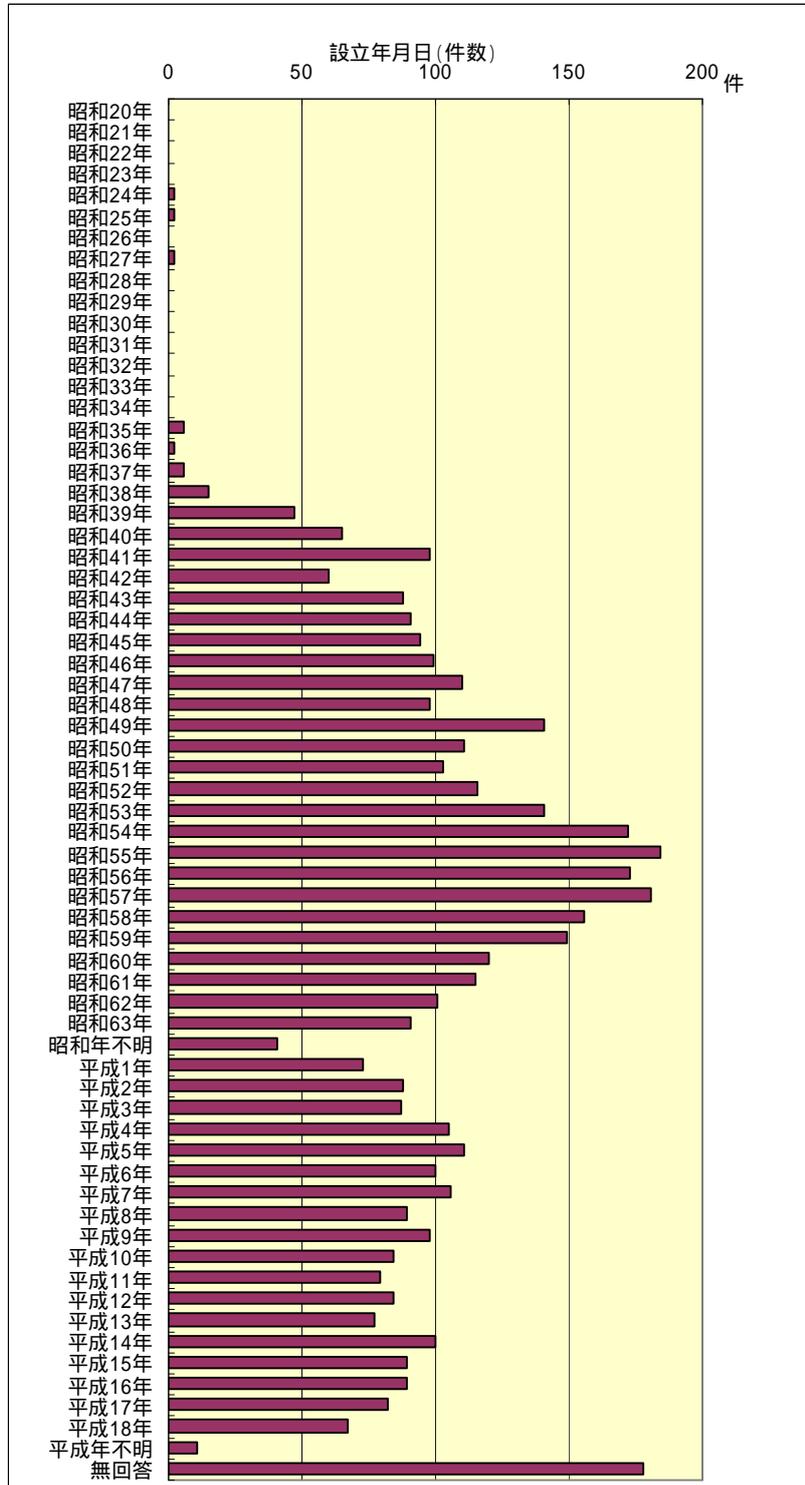
<p>施設の概要</p>	<p>児童館種 設置運営形態 設備状況 施設併設状況 最寄小中学校からの距離 開館時間、休館日、昼休の運営状況 1日の平均利用人数 職員会議の頻度 職員研修計画の有無、頻度 館長の有無・駐在状況 児童厚生員の人数 職員の勤続年数、保有資格</p>
<p>児童館運営状況</p>	<p>運営委員会の開催頻度 母親クラブの有無、連携事業の内容 活用しているボランティアの人数 ボランティアの活用状況</p>
<p>活動内容</p>	<p>児童館における諸取組の有無 小中高生の活動状況 中高生が自由に活動できる部屋の状況 子育て支援活動の実施状況 交流活動の実施状況 基本方針活動方針の明文化 障害児の受け入れ状況 障害児の利用に配慮した設備 相談等の受付件数 子育て相談の定期的実施状況 子どもからの相談内容 連携協力している地域資源</p>
<p>保険</p>	<p>保険の加入状況</p>

放課後児童クラブ	クラブ運営費への補助状況 登録児童数、指導員数 クラブ開設日、開設時間 専用室の有無 障害児の受け入れ人数 指導員に対する研修状況 指導員に対する健康診断状況
----------	---

第2章 児童館運営の現状

1. 設立年月日

図 1

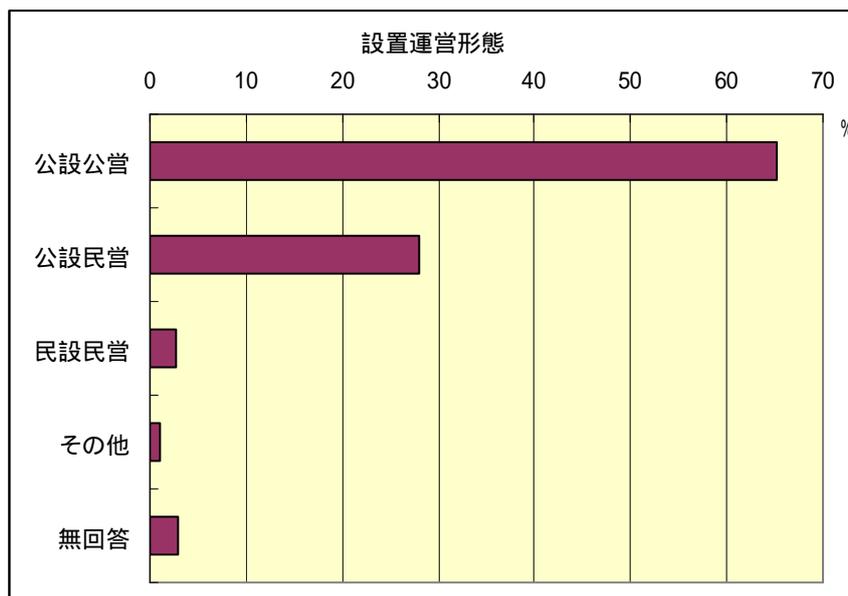


各年度における児童館設立件数は昭和 37 年頃から増え続け、第 2 次ベビーブーム世代の需要が高まる昭和 50 年台中旬に一旦ピークを迎えたあと平成 1 年まで減少に転じている。その後は年間 70 件～100 件前後の設立が続いている。

2. 施設の概要

(1) 設置運営形態

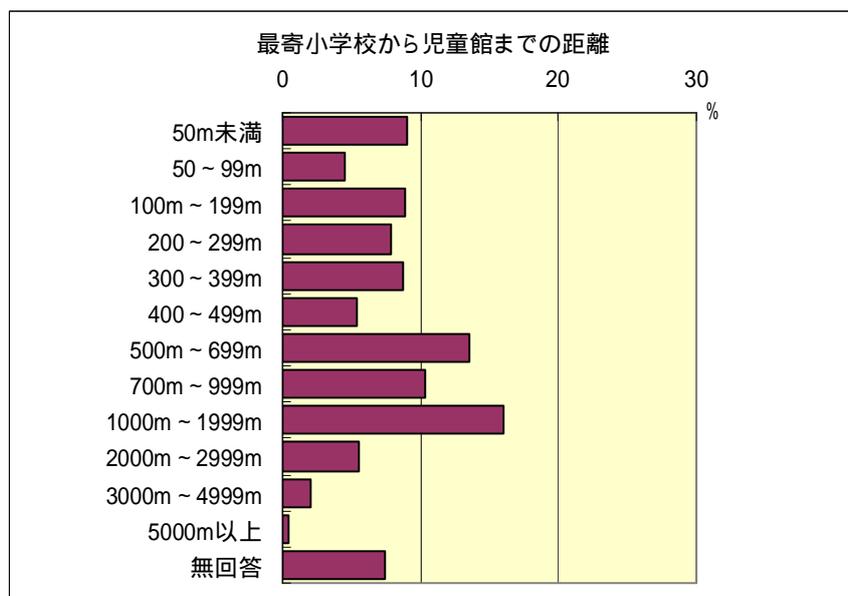
図 2



児童館の設置運営形態については、公設公営が 65.2%と最も多く、次いで公設民営が 28.0%、民設民営が 2.8%であり、児童館の 6 割以上が公設公営となっている。

(2) 最寄りの小学校から児童館までの距離

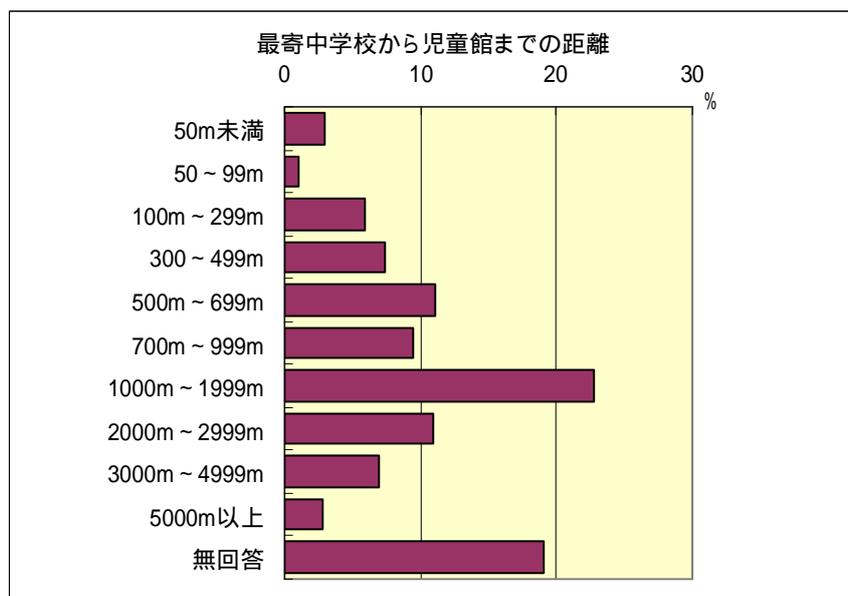
図 3



最寄りの小学校から児童館までの距離は、1000m～1999mの階級が16.0%と最も多く、次いで500～699mが13.5%、700～999mが10.4%、100m～199mが8.9%、300～399mが8.8%と続いている。過半数を超える58.1%の児童館は最寄りの小学校から700m未満の距離にあり、84.5%の児童館は2000m未満の距離にある。

(3) 最寄りの中学校から児童館までの距離

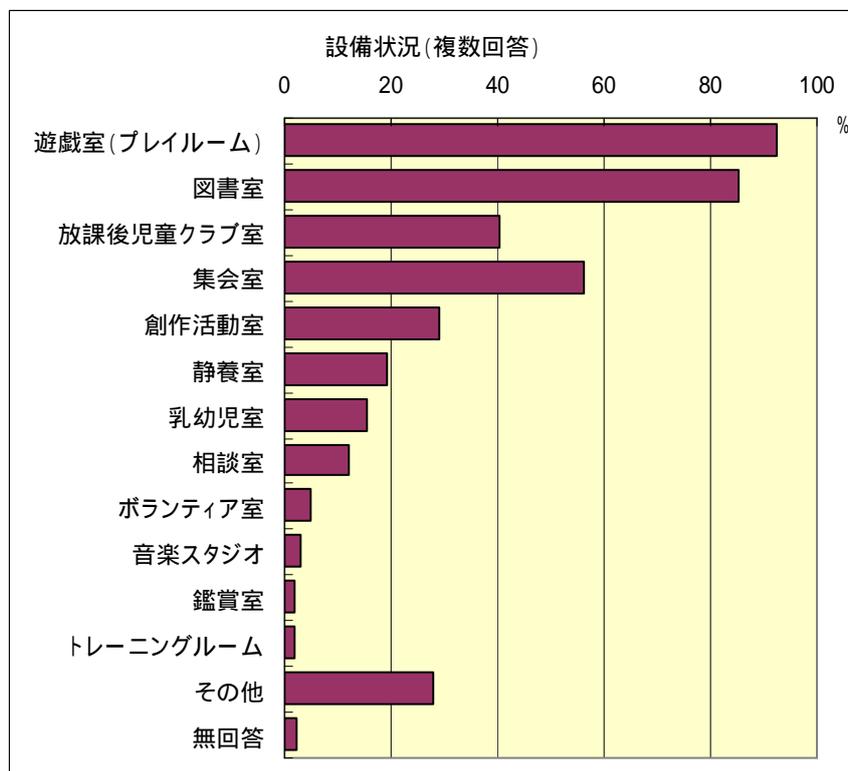
図 4



最寄りの中学校から児童館までの距離は、1000m～1999mの階級が22.7%と最も多く、次いで500m～699mが11.1%、2000m～2999mが10.9%、700m～999mが9.4%、300m～499mが7.4%となっている。過半数を超える60.4%の児童館は最寄りの中学校から2000m未満の距離にある。

(4)設備状況

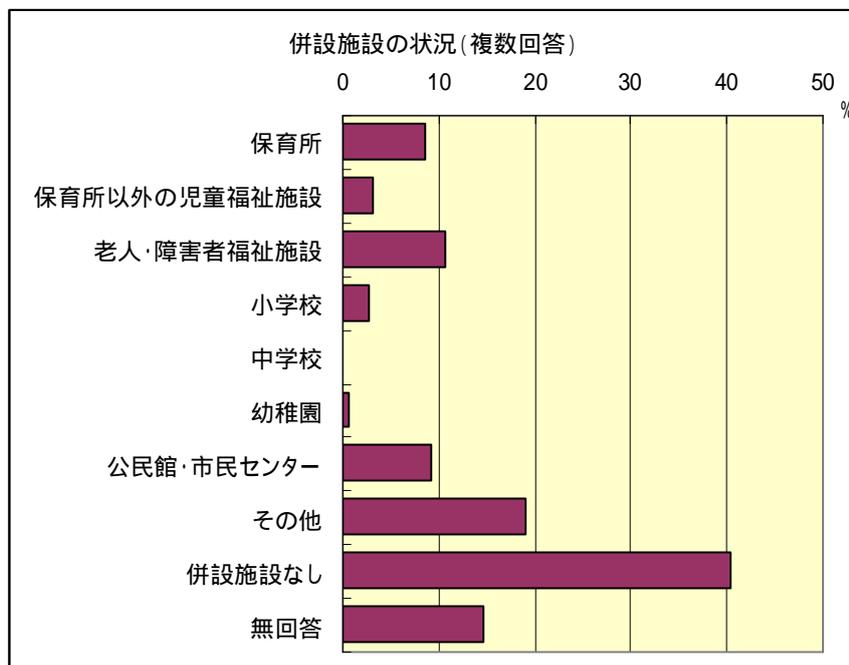
図 5



児童館の設備の状況については、遊戯室（プレイルーム）が 92.6%、図書室が 85.4%、集会室が 56.2%、放課後児童クラブ室が 40.4%、創作活動室が 29.0%となっており、8 割以上の児童館には遊戯室や図書室がある。

(5) 併設施設の状況

図 6

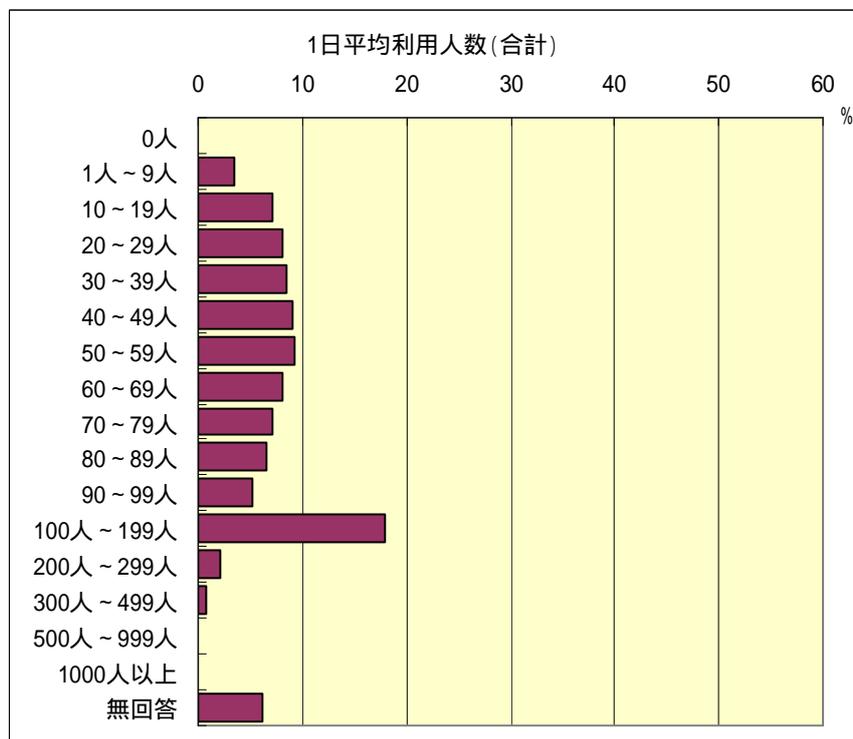


児童館の併設施設の状況としては、併設施設がない施設が最も多く、40.4%となっている。併設がある場合には、最も多いのが、その他の施設で 19.1%であり、次いで老人・障害者福祉施設で 10.6%、公民館・市民センターが 9.3%となっている。

3. 利用人数

(1) 1日平均利用人数

図 7

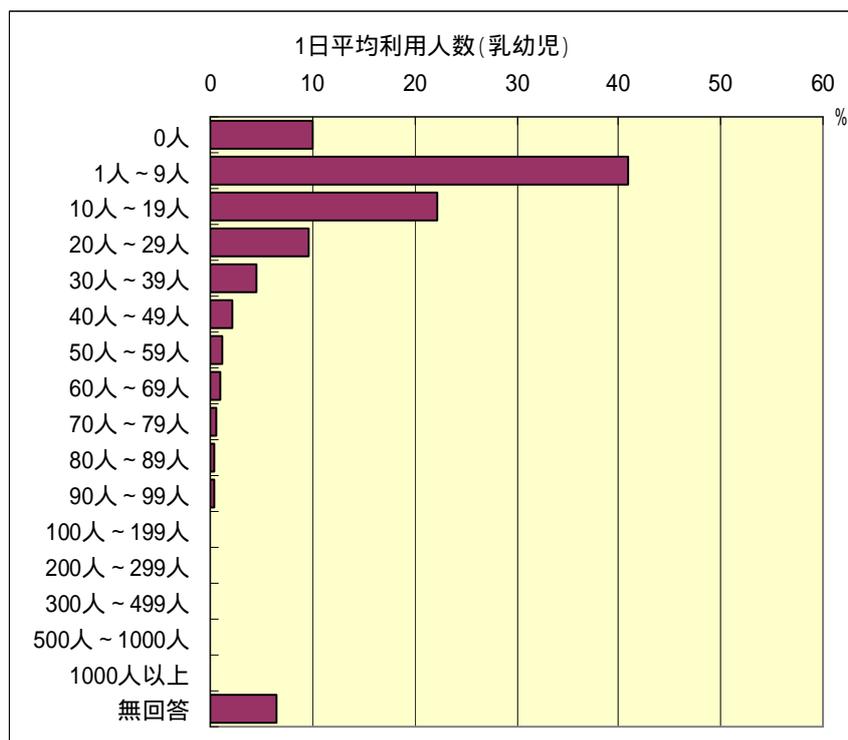


*平成18年9月ベース

各利用者を合計した児童館の1日あたりの平均利用人数は、100人～199人が17.9%であり、50人～59人が9.3%、40～49人が9.0%、30人～39人が8.4%、20人～29人と60人～69人が8.1%となっている。

(2) 乳幼児の1日平均利用人数

図 8

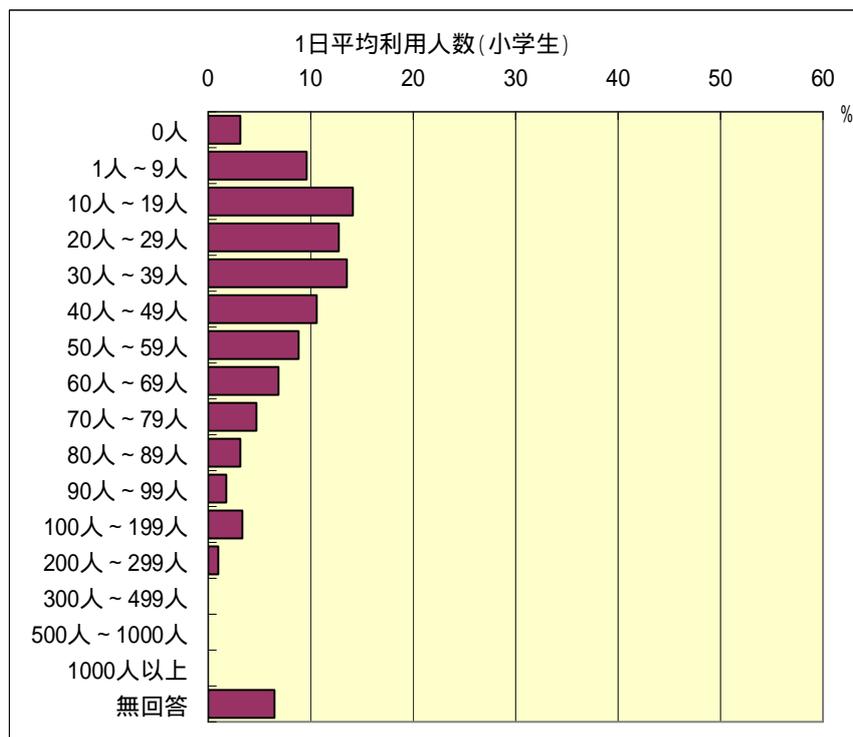


*平成18年9月ベース

乳幼児の1日あたりの平均利用人数は1～9人が41.9%と最も多く、次いで10人～19人が22.3%、0人が10.1%、20人～29人が9.7人となっている。過半数の児童館は乳幼児の利用者が10人未満であり、83.1%の児童館では乳幼児の利用人数が30人未満である。

(3) 小学生の1日平均利用人数

図 9



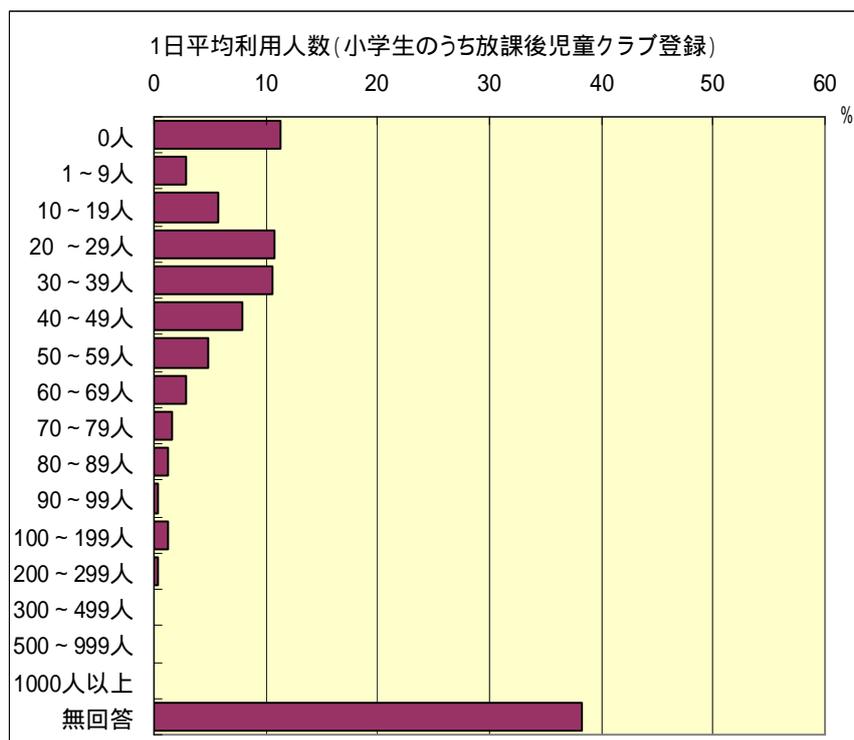
*平成18年9月ベース

小学生の1日あたりの平均利用人数は10～19人が14.2%で最も多く、次いで30人～39人が13.5%、20人～29人が12.8%、40人～49人が10.6%、1人～9人が9.6%となっている。

乳幼児と比べると20人～29人以下の各階級で少なく、それ以上の各階級で値が多くなっており、乳幼児より小学生の利用人数が多い。

(4) 放課後児童クラブ登録小学生の1日平均利用者数

図 10

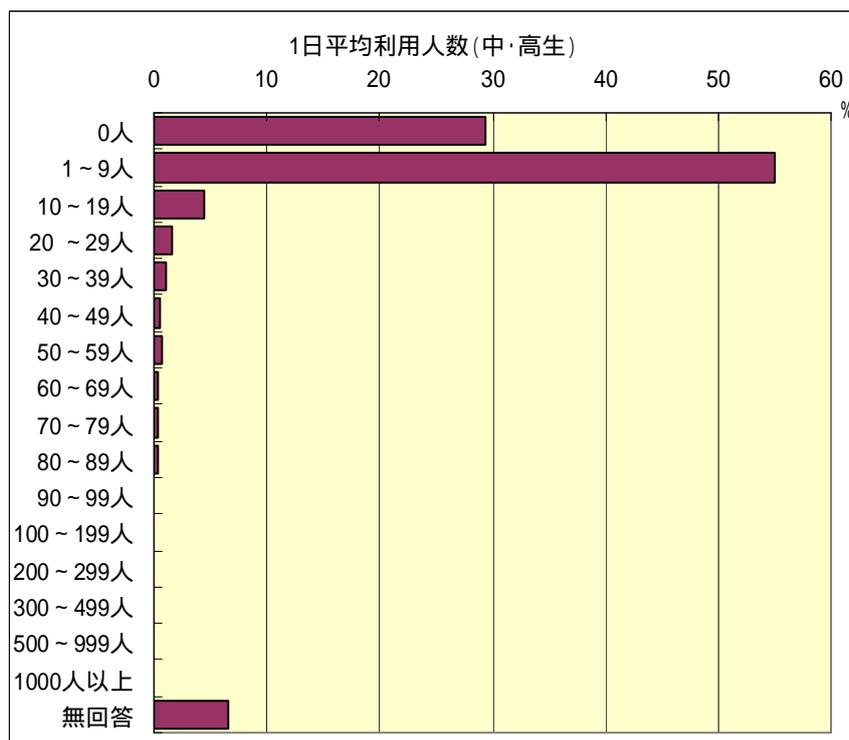


* 平成 18 年 9 月ベース

放課後児童クラブに登録している小学生の1日あたりの平均利用人数は、0人が11.3%、20人~29人が10.7%、30人~39人が10.6%、40人~49人が7.9%、10人~19人が5.8%となっている。

(5) 中・高生の1日平均利用人数

図 11



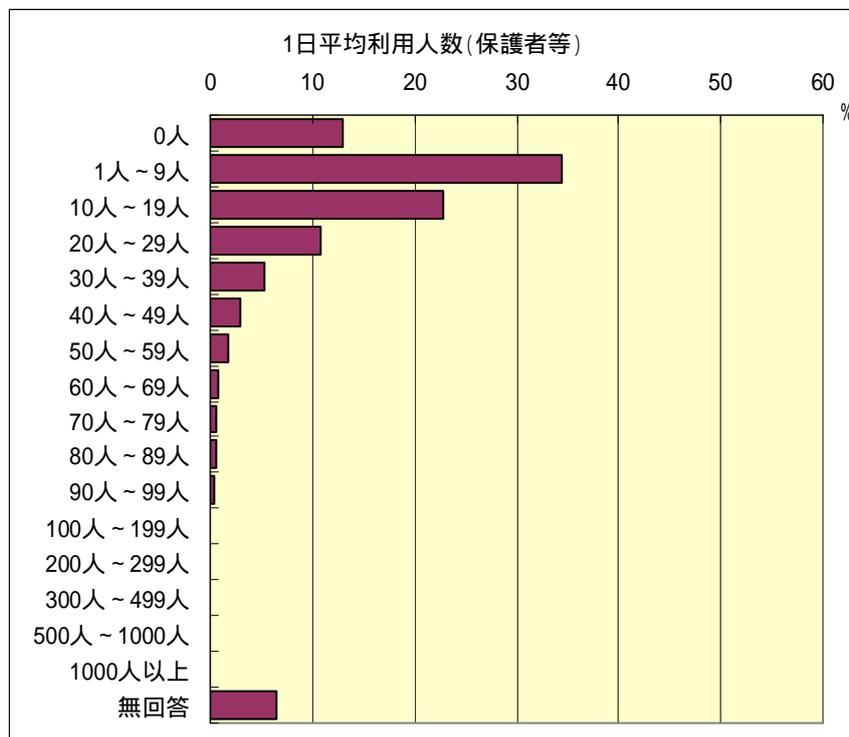
*平成18年9月ベース

中・高生の1日あたりの平均利用人数は1人～9人が55.0%と最も多く、次いで0人が29.3%、10人～19人が4.4%となっている。0人と1～9人の階級を合わせると84.3%を占めて、中・高生の利用はほとんどが9人以下である。

乳幼児と比べると、0人と1～9人で多く、10～19人以上の各階級で少ないかほぼ変わらず、乳幼児よりも利用人数が少ない。

(6) 保護者等の1日平均利用人数

図 12



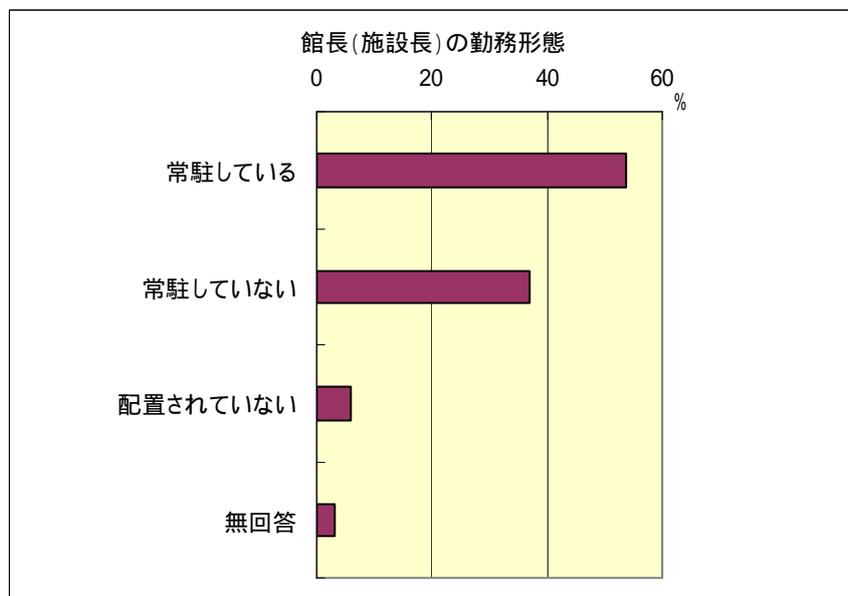
*平成18年9月ベース

保護者等の1日あたりの平均利用人数は1人～9人が34.5%で最も多く、次いで10人～19人が22.9%、0人が13.0%、20人～29人が10.8%、30人～39人が5.4%となっている。81.2%の児童館で保護者の1日あたりの平均利用人数が29人未満であり、また0人の階級は保護者等が乳幼児よりもよりの多い。

4. 職員の勤務状況

(1) 館長(施設長)の勤務形態

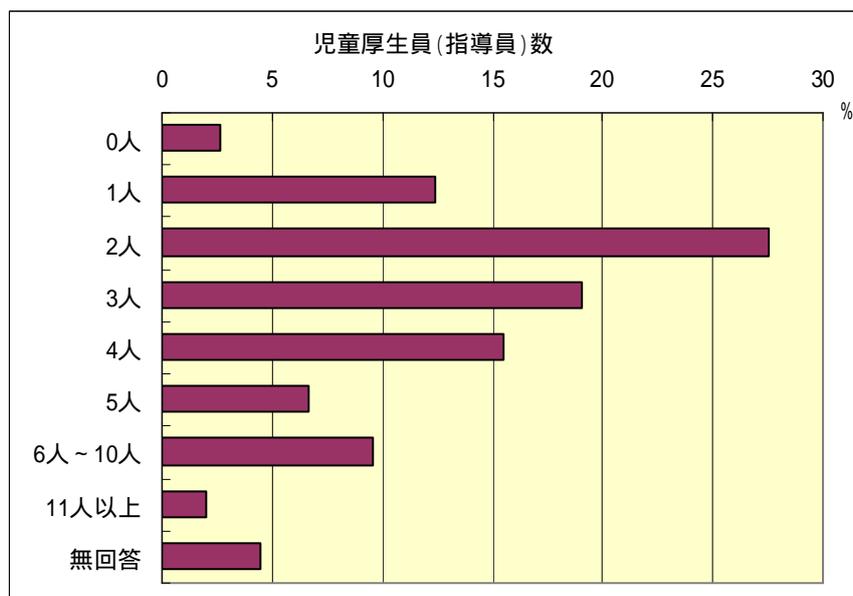
図 13



館長または施設長の勤務形態については、常駐している児童館が 53.8%、常駐していない児童館が 37.0%、配置されていない児童館が 5.9%となっている。

(2) 児童厚生員数

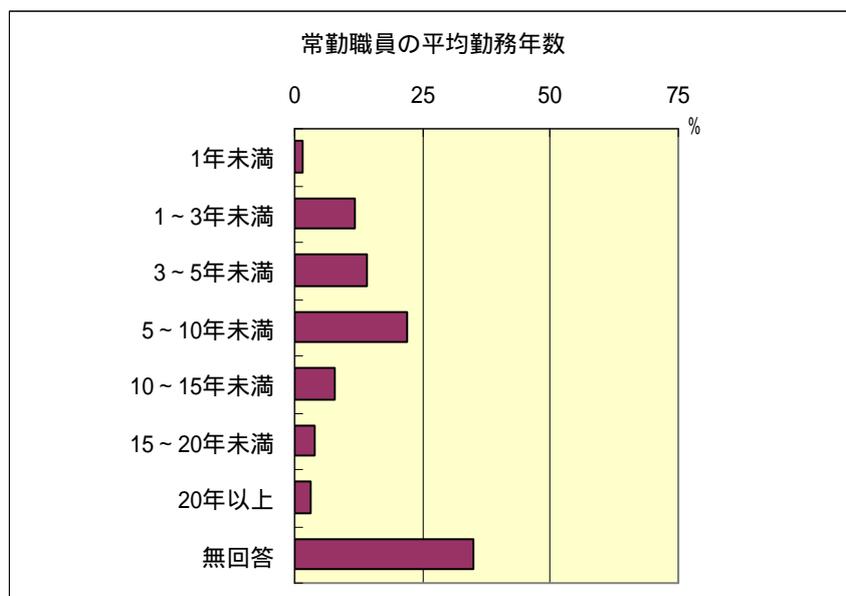
図 14



児童厚生員（指導員）数については、2人が27.5%と最も多く、次いで3名が19.1%、4名が15.5%、1名が12.4%、6人～10人が9.6%、5人が6.7%となっている。62.1%の児童館では児童厚生員（指導員）数が2人～4人である。

(3) 常勤職員の平均勤務年数

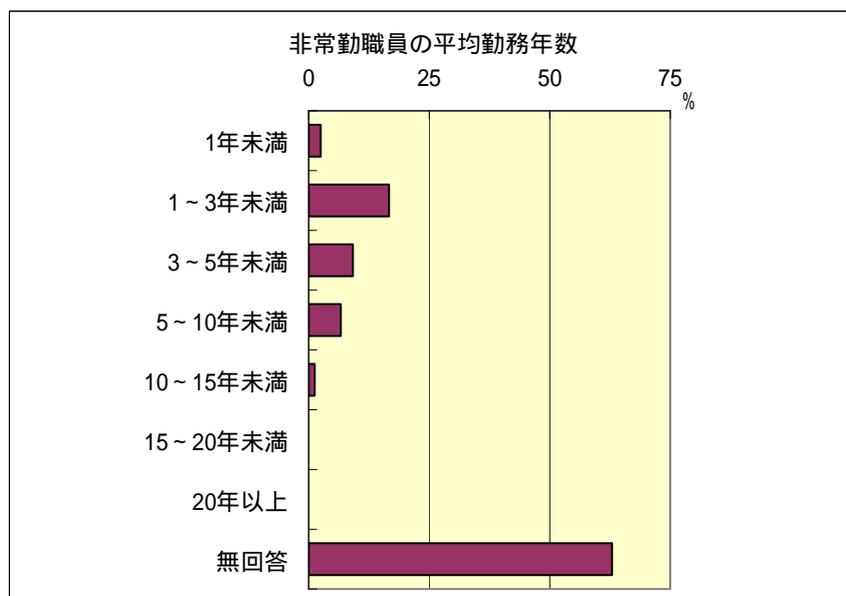
図 15



常勤職員の平均勤務年数は5～10年未満が22.1%と最も多く、次いで3～5年未満が14.3%、1～3年未満が11.8%、10～15年未満が7.9%、15～20年未満が4.0%、20年以上が3.2%となっている。

(4) 非常勤職員の平均勤務年数

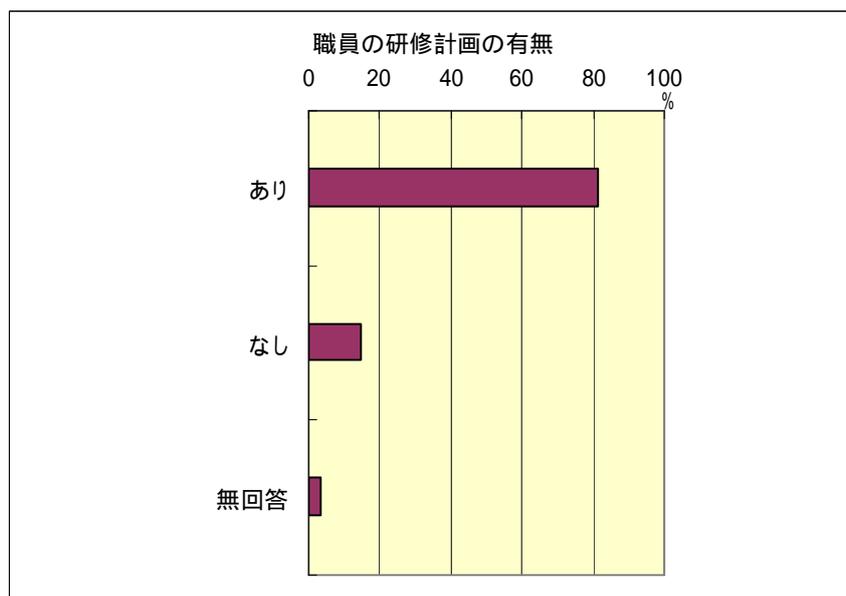
図 16



非常勤職員の平均勤務年数は 1～3 年未満が 16.6%と最も多く、次いで 3～5 年が 9.2%、5～10 年が 6.6%、1 年未満が 2.6%、10～15 年が 1.4%であり、無回答を除くと半数以上が平均勤務年数 3 年未満となっている。

(5) 研修計画の有無

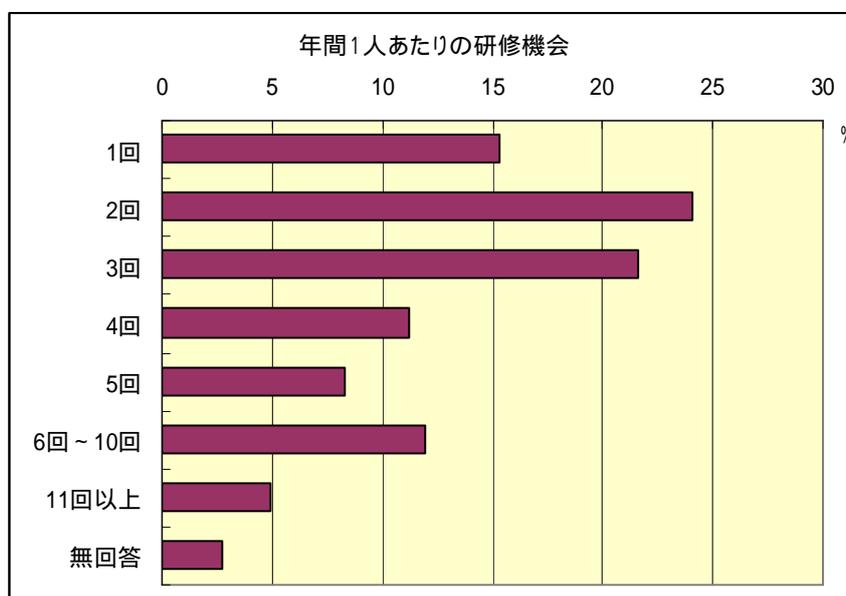
図 17



職員に対する研修計画の有無については、計画ありが81.5%、計画なしが14.9%であり、8割以上の児童館で職員に対する研修を計画している。

(6) 年間1人あたりの研修機会

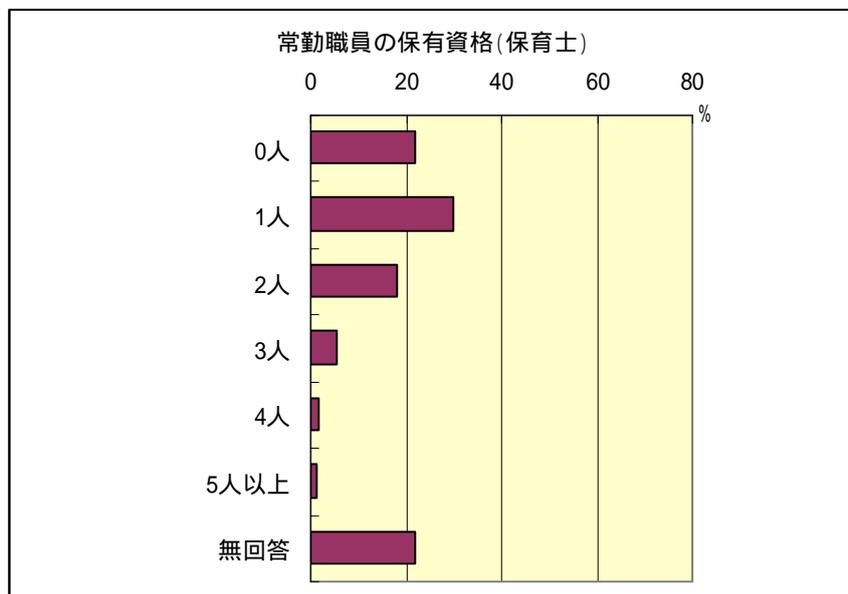
図 18



年間1人あたりの研修機会は2回が24.1%と最も多く、次いで3回が21.6%、1回が15.3%、6～10回が11.9%、5回が8.3%、11回以上が4.9%である。

(7) 常勤職員の保育士資格保有者数

図 19

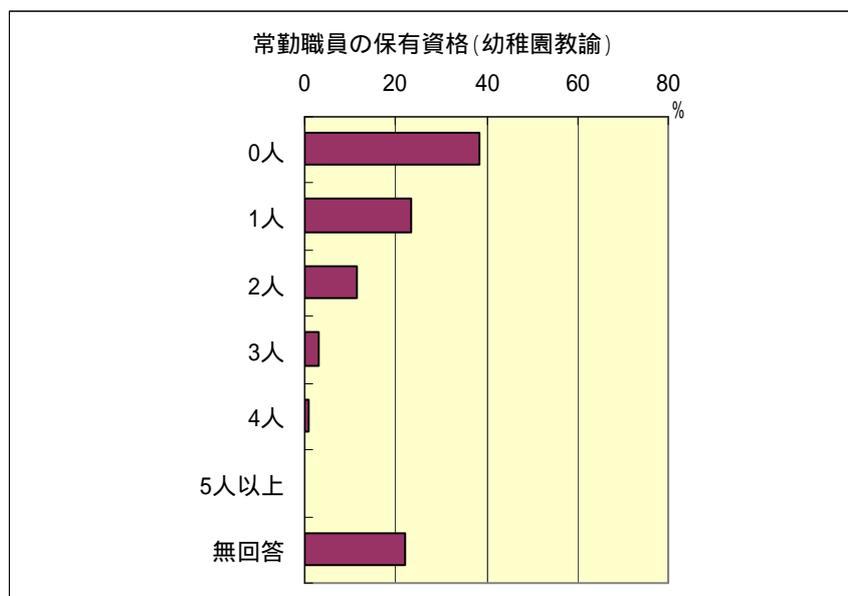


常勤職員の保育士資格保有者数については、1人の児童館が29.8%で最も多く、次いで0人が21.9%、2人が18.0%、3人が5.3%、4人が1.7%、5人以上が1.3%である。

保育士の資格保有者0人の児童館21.9%は乳幼児の1日平均利用人数0人である児童館の割合10.1%（図7）を2倍以上上回っている。

(8) 常勤職員の幼稚園教諭資格保有者数

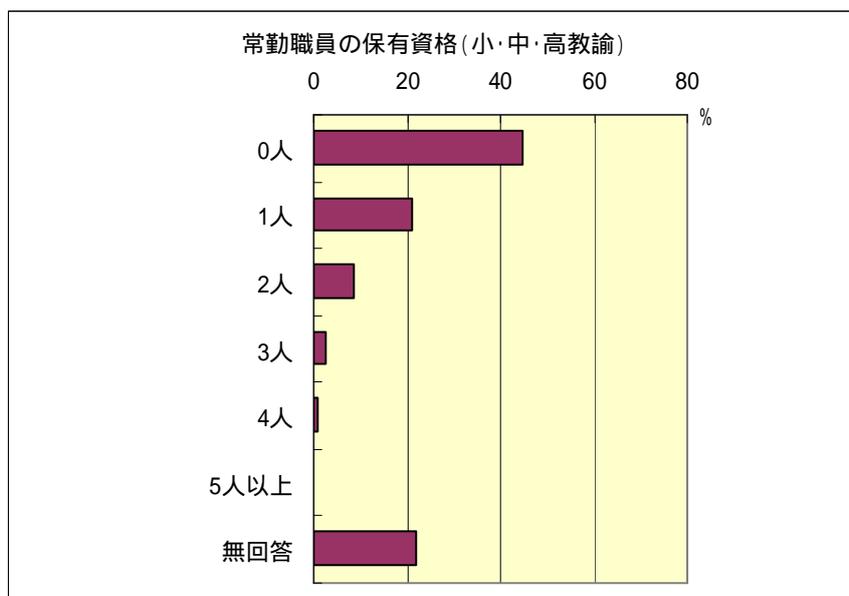
図 20



常勤職員の幼稚園教諭資格保有者数については、0人の児童館が38.5%で最も多く次いで1人が23.5%、2人が11.3%、3人が3.1%、4人が1.1%、5人以上が0.5%となっている。

(9) 常勤職員の教諭資格保有者数

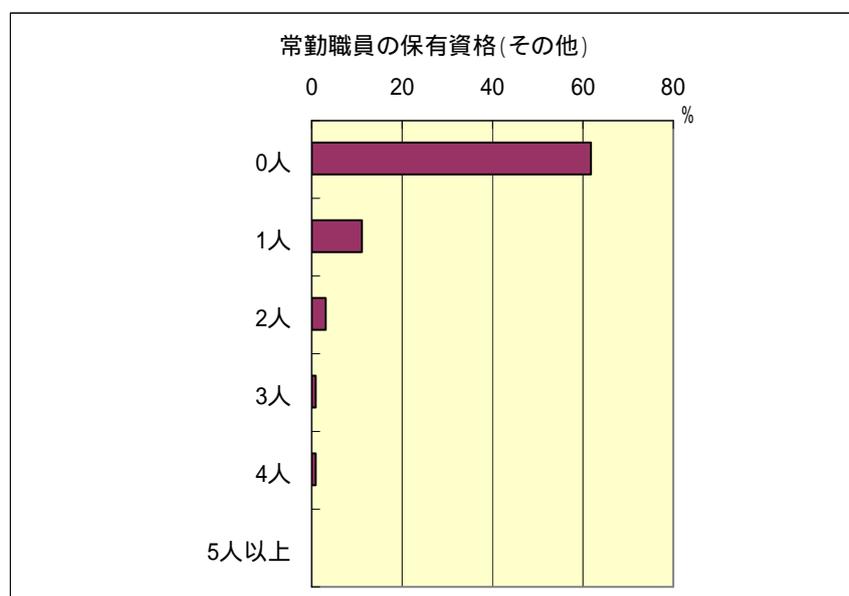
図 21



常勤職員の小学校・中学校・高校の教諭資格保有者数については、0人の児童館が44.8%、1人が21.0%、2人が8.6%、3人が2.7%、4人が0.7%、5人以上は0.3%となっている。

(10) 常勤職員のその他資格保有者数

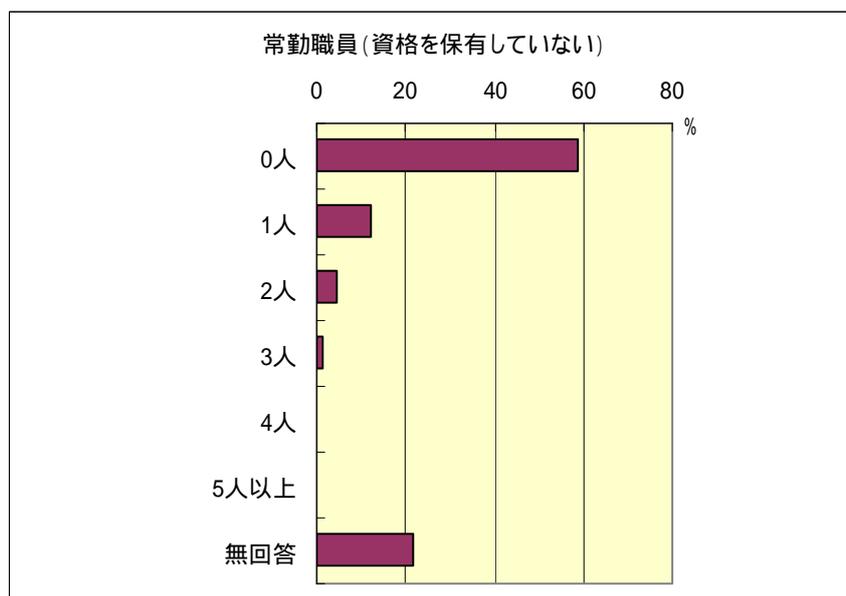
図 22



常勤職員のその他の資格保有者数については、0人の児童館が61.9%、1人が11.0%、2人が3.2%、3人が0.9%、4人が0.8%、5人以上が0.4%となっている。

(11) 資格を保有していない常勤職員数

図 23

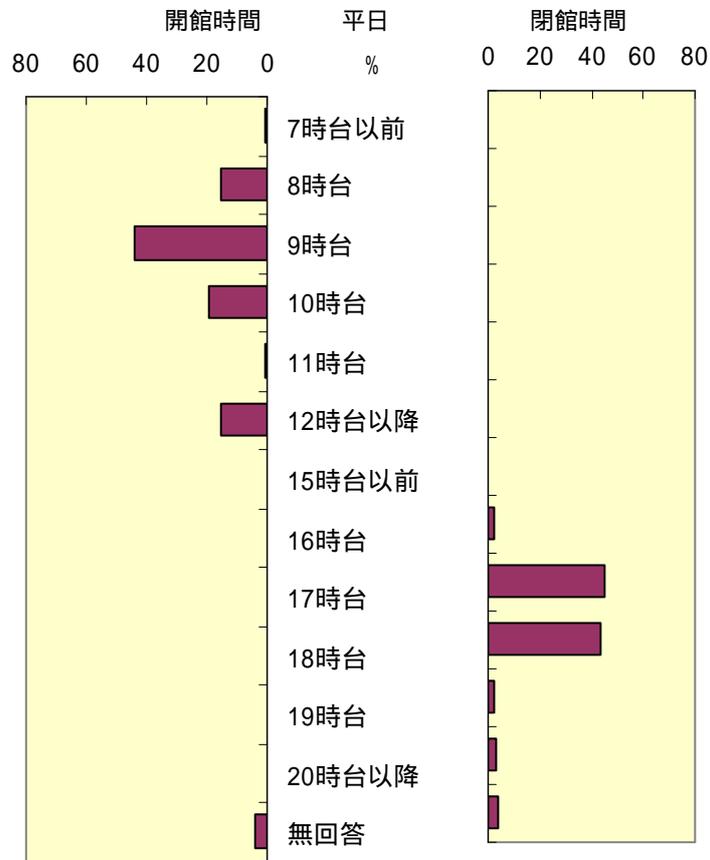


資格を保有していない常勤職員数については、0人の児童館が58.9%、1人が12.4%、2人が4.4%、3人が1.4%、4人が0.6%、5人以上が0.4%であり、過半数の児童館で資格保有者が0人となっている。

5. 開館時間・閉館時間等

(1) 平日の開館・閉館時間

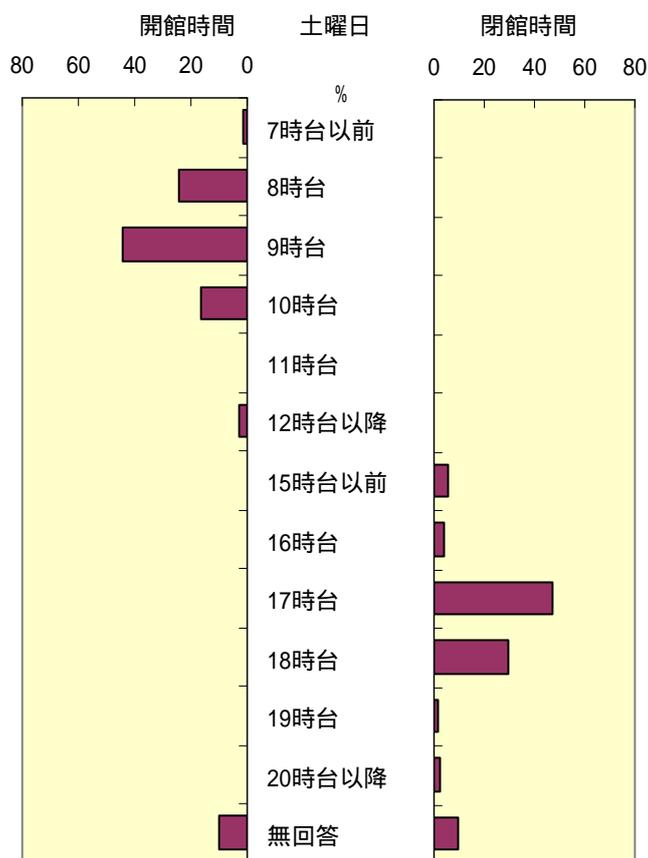
図 24



平日における児童館の開館時間については、9時台が43.8%で最も多く、次いで10時台が19.5%、8時台と12時台以降がともに15.6%、7時台以前と11時台がともに0.8%である。閉館時間については、17時台が44.7%で最も多く、次いで18時台が43.7%、20時台以降が3.1%、19時台が2.5%、16時台が2.0%であり、88.4%の児童館は閉館時間が17時台から18時台となっている。

(2) 土曜日の開館・閉館時間

図 25

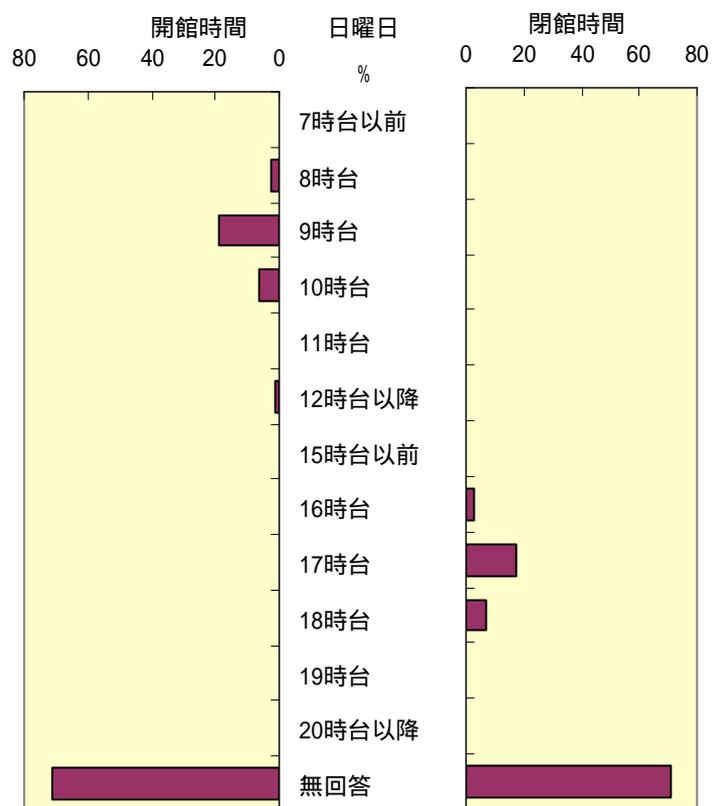


土曜日における児童館の開館時間については、9時台が44.6%で最も多く、次いで8時台が24.2%、10時台が16.7%、12時台以降が3.2%、7時台が1.4%、11時台が0.2%である。閉館時間については、17時台が47.1%で最も多く、次いで18時台が29.6%、15時台以前が5.7%、16時台が3.7%、20時台以降が2.6%、19時台が1.6%である。

平日と比べると、土曜日の開館時間は9時台以前の階級で増加し、10時台以降階級では減少している。閉館時間については平日よりも17時台以前の階級が増加し、18時台以降の階級が減少しており、土曜日は平日に比べて開館時間、閉館時間も早くなっている。

(3) 日曜日の開館・閉館時間

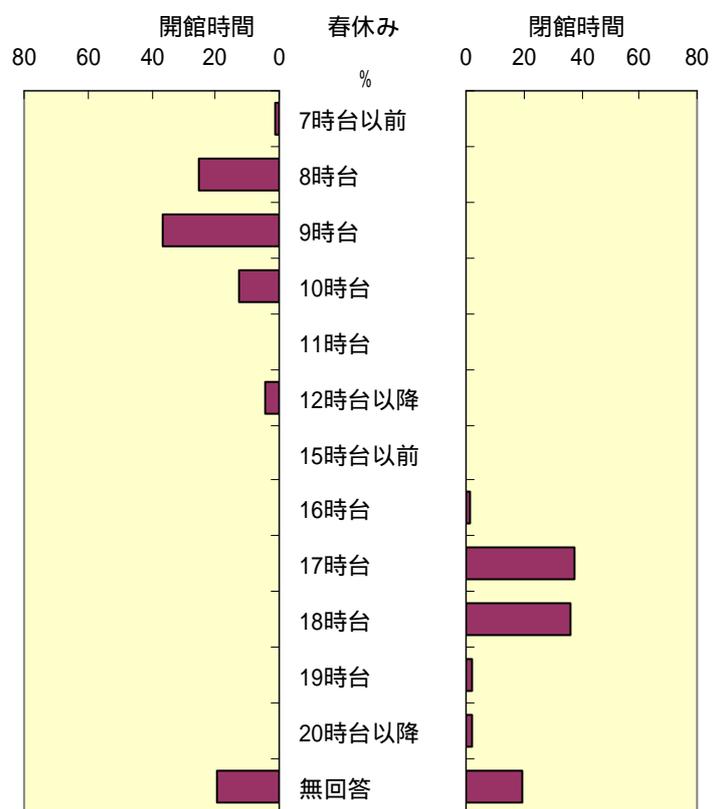
図 26



日曜日における児童館の開館時間については、9時台が19.2%と最も多く、次いで10時台が6.0%、8時台が2.5%、12時台以降が1.1%となっている。閉館時間については、17時台が17.2%と最も多く、18時台が7.2%、16時台が3.1%となっている。

(4) 春休みの開館・閉館時間

図 27

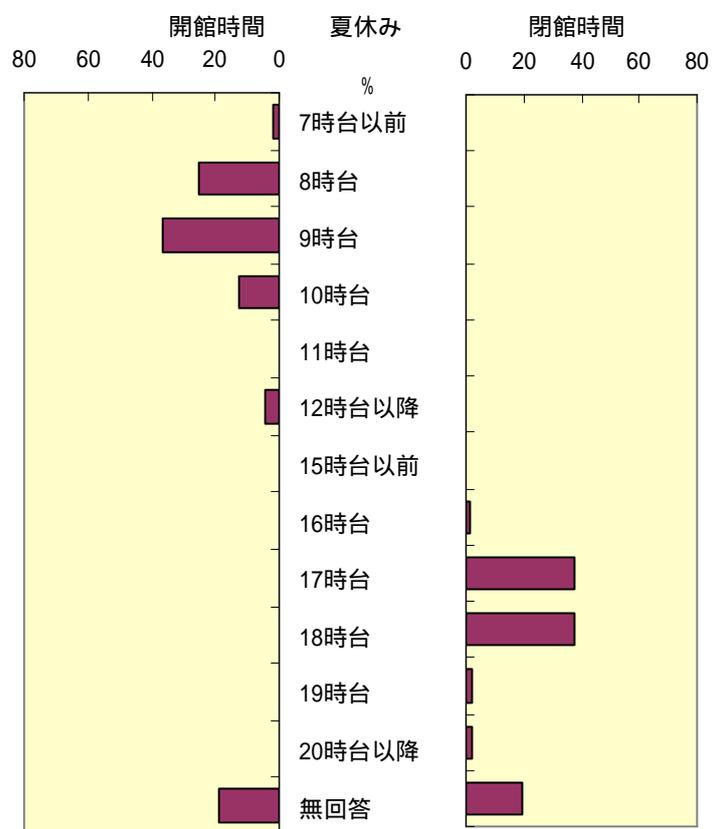


春休みにおける児童館の開館時間については9時台が36.3%と最も多く、次いで8時台が25.5%、10時台が12.3%、12時台以降が4.6%、7時台以前が1.5%となっている。閉館時間については17時台が37.8%と最も多く、次いで18時台が36.4%、20時台以降が2.4%、19時台が2.1%、16時台が1.2%となっている。春休みの開館時間は、8時台以前の各階級で平日よりも多く、9時台以降の各階級で少なくなっており、開館時間は平日よりも早い。

また土曜日と比較すると、開館時間は7時台以前と8時台及び12時台以降で若干多く、9時台と10時台で少なくなっており、閉館時間は17時台以前の各階級と20時台以降で減少し、18時台と19時台で増加している。

(5) 夏休みの開館・閉館時間

図 28

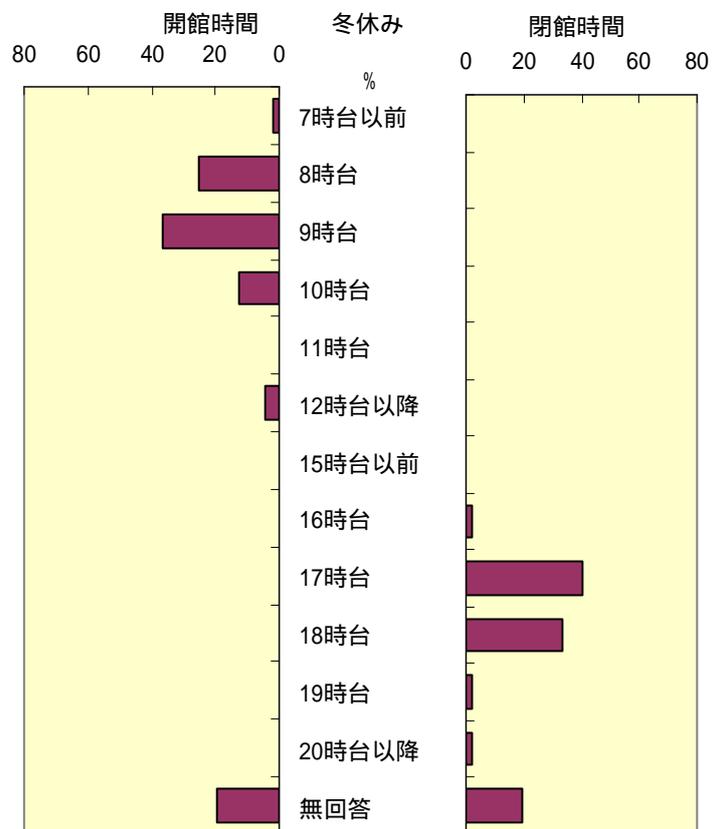


夏休みにおける児童館の開館時間については9時台が36.4%と最も多く、次いで8時台が25.3%、10時台が12.5%、12時台以降が4.7%、7時台以前が1.7%となっている。閉館時間については17時台が37.5%と最も多く、次いで18時台が37.4%、20時台以降が2.4%、19時台が2.1%、16時台が1.1%となっている。

夏休みは開館時間、閉館時間とも春休みとあまり変わらない。

(6) 冬休みの開館・閉館時間

図 29

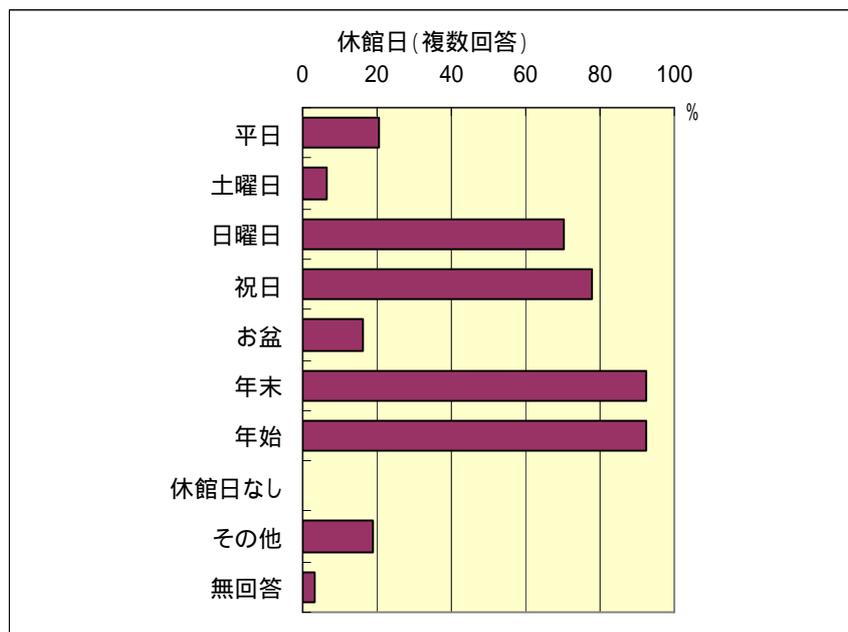


冬休みにおける児童館の開館時間については9時台が36.4%と最も多く、次いで8時台が25.3%、10時台が12.3%、12時台以降が4.7%、7時台以前が1.7%となっている。閉館時間については17時台が40.2%と最も多く、次いで18時台が33.6%、20時台以降が2.4%、19時台が2.1%、16時台が2.0%となっている。

春休み、夏休みと比較すると、冬休みの開館時間についてはあまり変わらないが、閉館時間については16時台と17時台が若干多く、18時台が若干少なくなっており、閉館時間は若干早い。

(7) 休館日

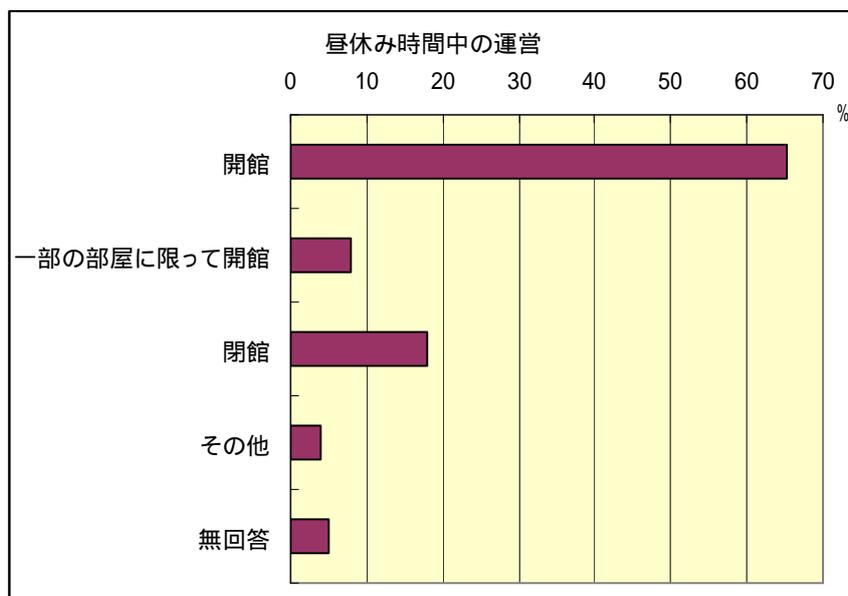
図 30



休館日については、年始が 92.6%、年末が 92.3%、祝日が 77.7%、日曜日が 70.4%、平日が 20.8%、その他が 18.7%、お盆は 16.3%、土曜日が 6.4%となっている。年末と年始や日曜日と祝日に休館日である児童館は多く、土曜日が休館日の児童館は少なくなっている。

(8) 昼休み時間中の運営

図 31

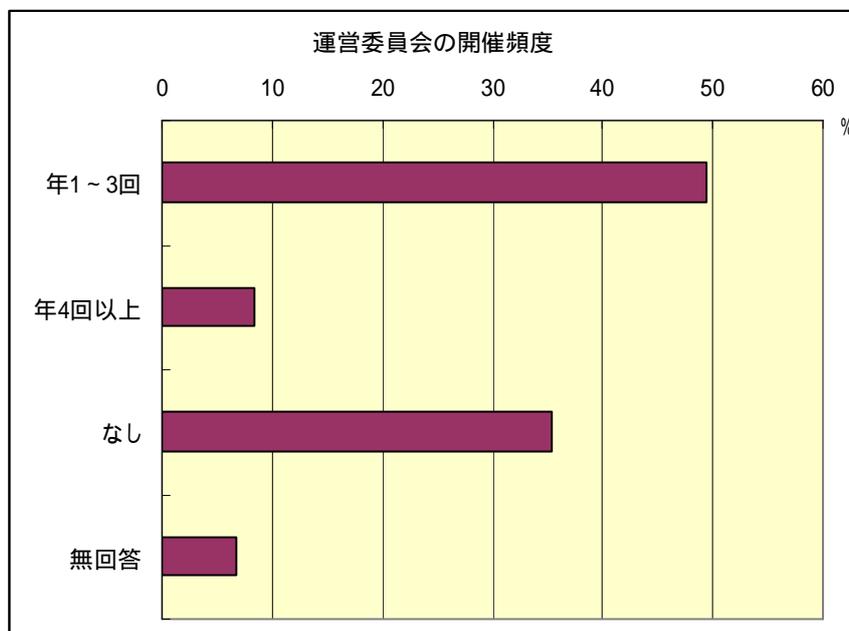


昼休み時間中の運営については、開館が 65.3%、閉館が 18.0%、一部の部屋に限って開館が 7.8%であり、昼休み中に運営している児童館は、開館と一部の部屋に限って開館を合わせて 73.1%となっている。

6. 運営委員会等

(1) 運営委員会の開催頻度

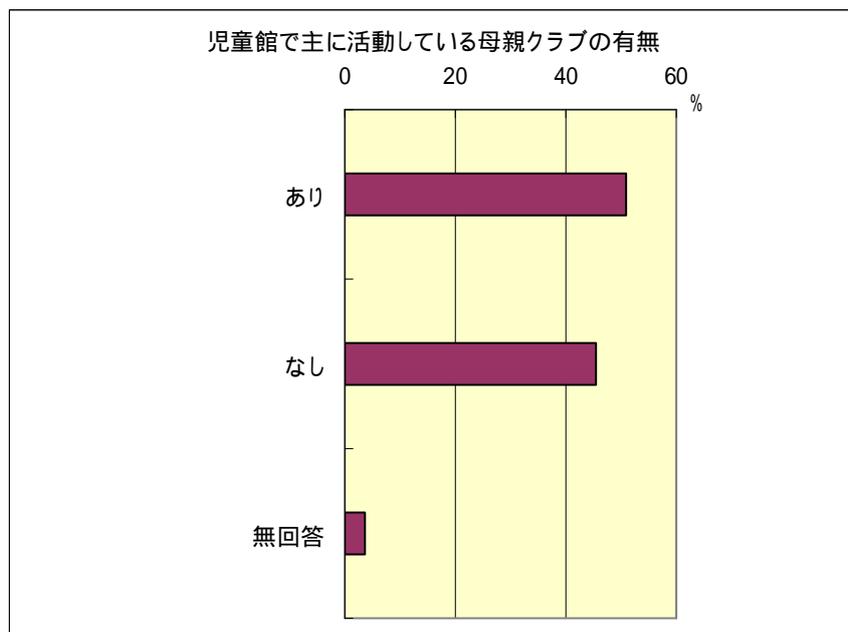
図 32



運営委員会の開催頻度については、年1~3回の開催が49.5%、なしが35.4%、年4回以上の開催が8.3%となっており、少なくとも年1回以上運営委員会を開催している児童館は過半数を超えている。

(2) 児童館で主に活動している母親クラブの有無

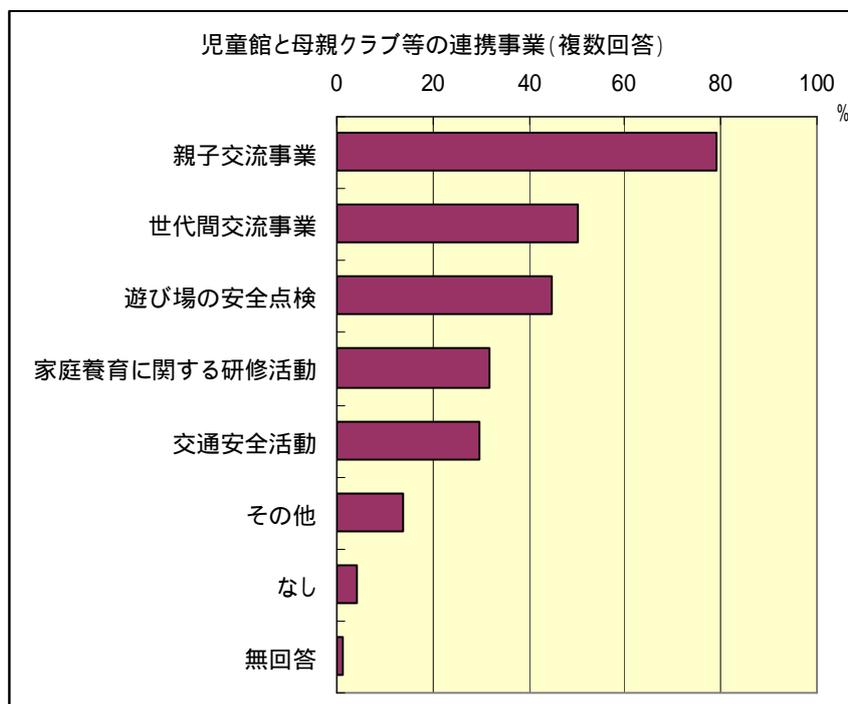
図 33



児童館で主に活動している母親クラブの有無については、ありが 50.8%、なしが 45.6% である。

(3) 児童館と母親クラブ等の連携事業

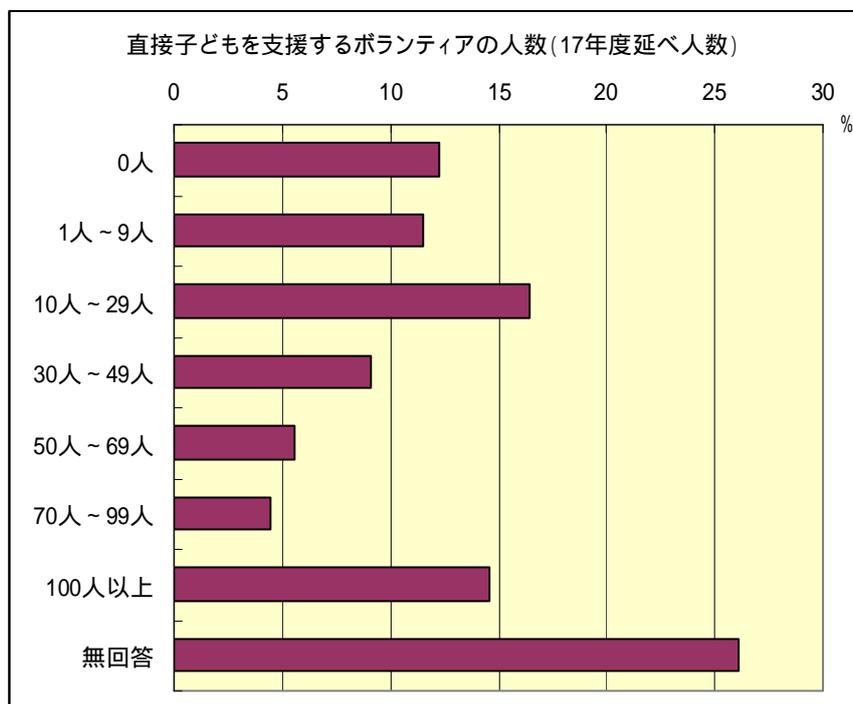
図 34



児童館と母親クラブ等との連携事業（複数回答）については、親子交流事業が 79.0%、世代間交流事業が 50.3%、遊び場の安全点検が 44.8%、家庭養育に関する研修活動が 32.0%、交通安全活動が 29.6%、その他 13.9%、なしが 4.1%となっている。

(4) ボランティアの人数

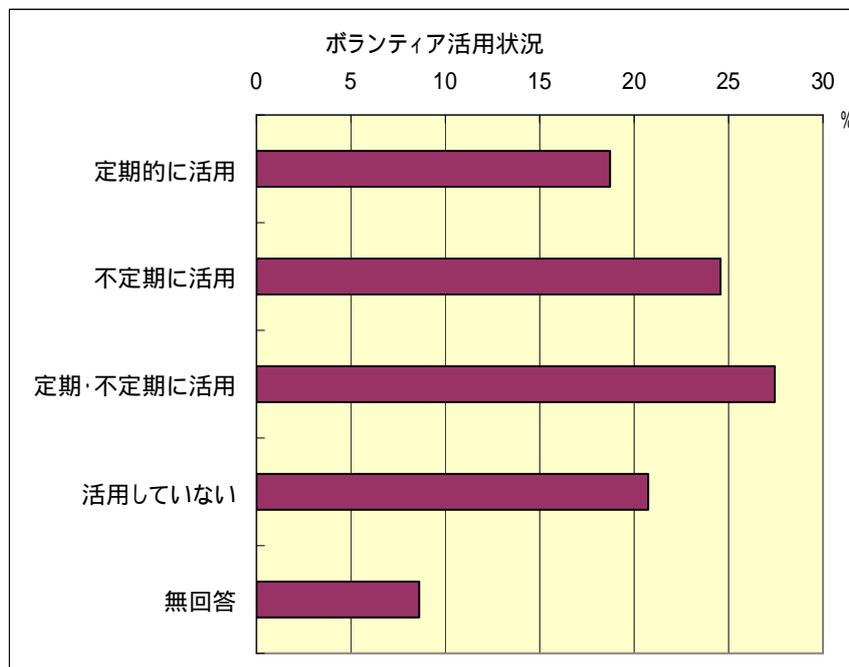
図 35



直接子どもを支援するボランティア人数(17年度延べ人数)は、10人~29人が16.4%と最も多く、次いで100人以上が14.6%、0人が12.3%、1人~9人が11.5%、30人~49人が9.1%となっている。ボランティア数100人以上の児童館が14.6%ある一方で、0人の児童館も12.3%にのぼる。

(5) ボランティア活用状況

図 36

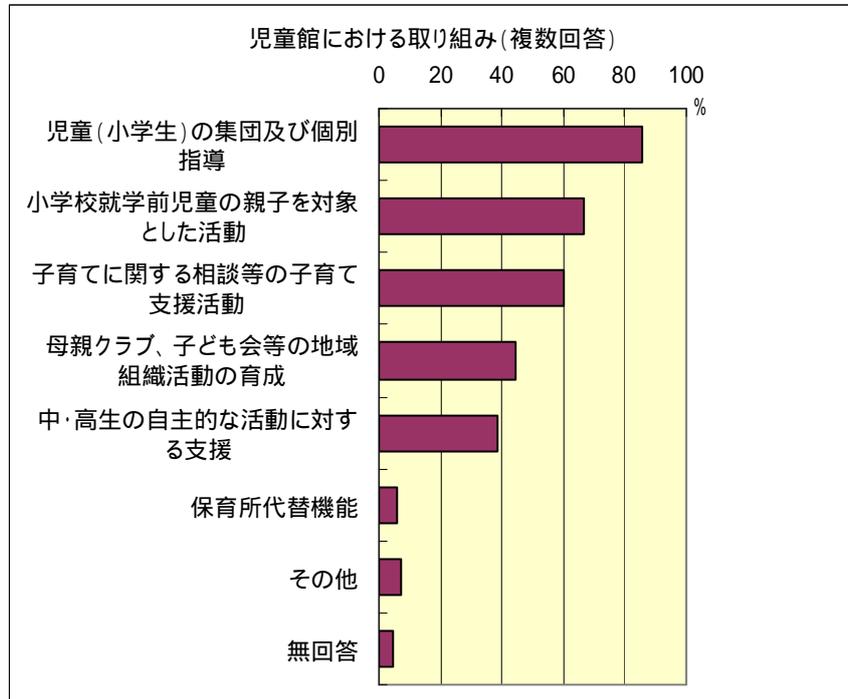


ボランティアの活用状況は、定期・不定期に活用が 27.4%、不定期に活用が 24.6%、定期的に活用が 18.7%、活用していないが 20.7%である。70.7%の児童館がボランティアを活用しており、ボランティアを定期的に活用する児童館よりも不定期に活用する児童館の方が多くなっている。

7. 児童館の活動内容

(1) 児童館における取り組み

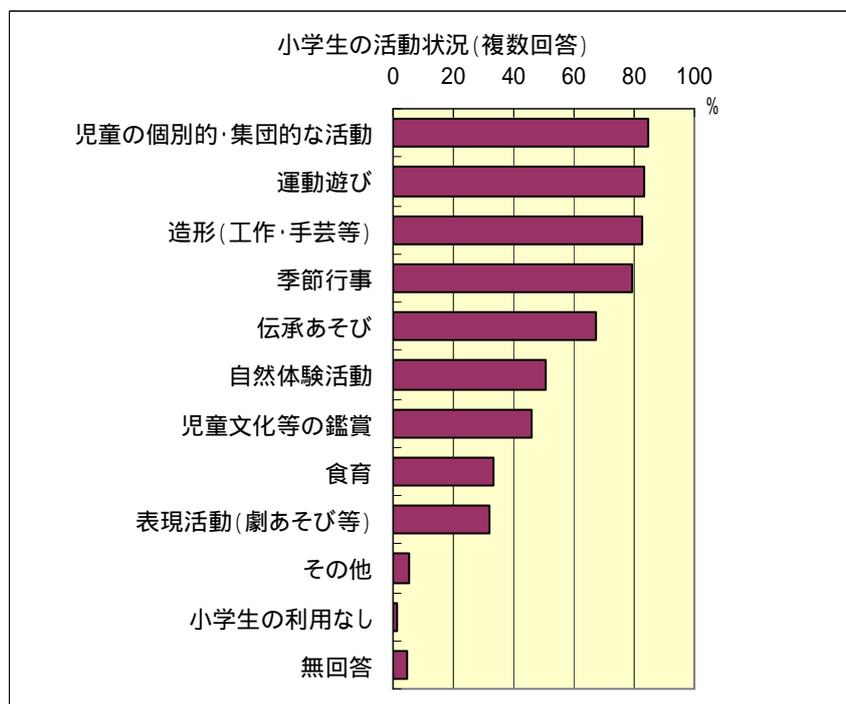
図 37



児童館で取り組まれている活動内容（複数回答）については、児童（小学生）の集団及び個別指導が 85.6%、小学校就学前児童の親子を対象とした活動が 66.9%、子育てに関する相談等の子育て支援活動が 60.4%、母親クラブ、子ども会等の地域組織活動の育成が 44.6%、中学生・高校生の自主的な活動に対する支援が 38.8%、保育所代替機能が、6.2%、その他が 7.3%となっている。

(2) 小学生の活動状況

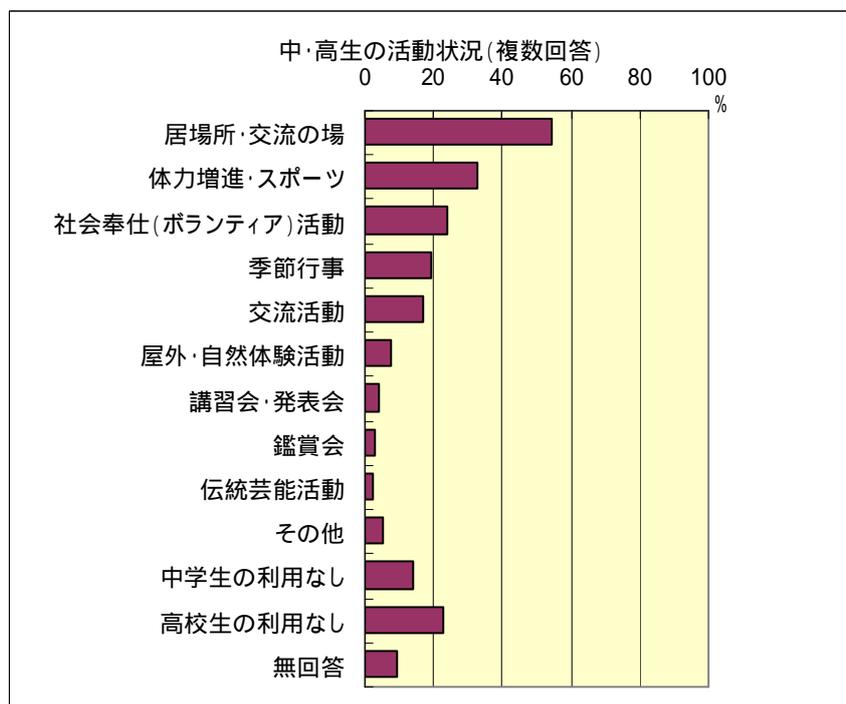
図 38



小学生の活動状況（複数回答）については、児童の個別的・集団的活動が 84.5%、運動あそびが 83.3%、造形(工作、手芸等)が 82.7%、季節行事が 79.0%、伝承あそびが 67.4%、自然体験活動が 50.5%、児童文化等の鑑賞 46.0%、食育 33.6%、表現活動（劇あそび等）31.7%、その他 5.1%、小学生の利用なしが 1.5%となっている。

(3) 中・高生の活動状況

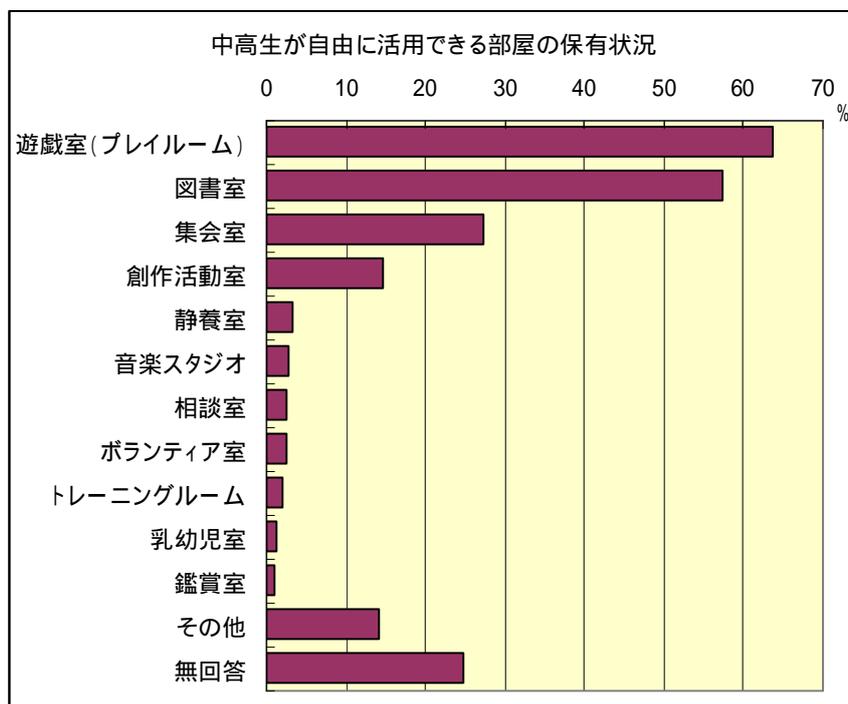
図 39



中・高生の活動状況については、居場所・交流の場が 54.3%、体力増進・スポーツが 32.9%、社会奉仕(ボランティア)活動が 23.8%、季節行事が 19.4%、交流活動が 17.1%、屋外・自然体験活動が 7.7%、講習会・発表会が 4.3%、鑑賞会が 3.0%、その他 5.4%、中学生の利用なしが 14.2%、高校生の利用なしが 22.8%となっている。

(4) 中高生が自由に活動できる部屋の保有状況

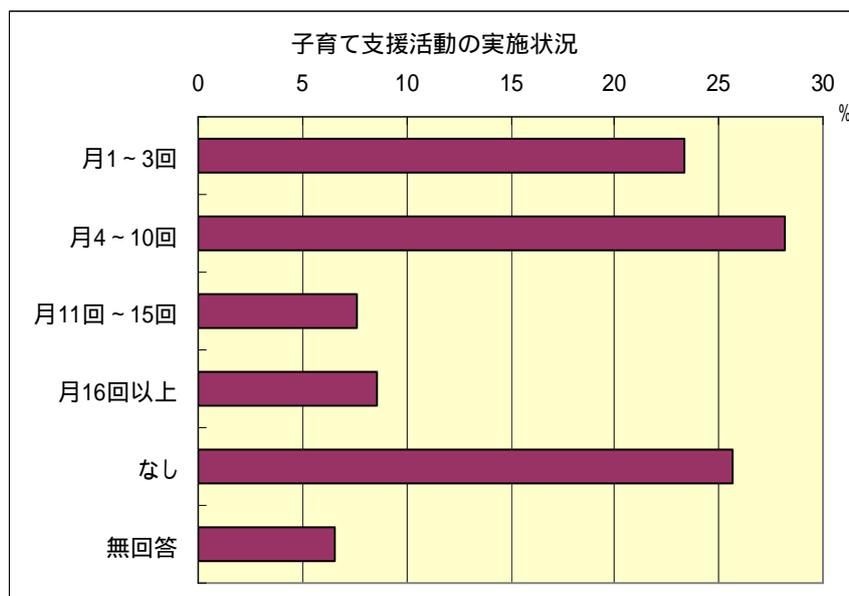
図 40



中・高生が自由に活動できる部屋の保有状況（複数回答）については、遊戯室（プレイルーム）が 63.6%、図書室が 57.3%、集会室が 27.4%、創作活動室が 14.7%、静養室が 3.2%、音楽スタジオが 2.8%、相談室が 2.5%、ボランティア室が 2.5%、トレーニングルームが 2.0%、乳幼児室が 1.3%、鑑賞室が 1.0%、その他が 14.2%となっている。

(5) 子育て支援活動の実施状況

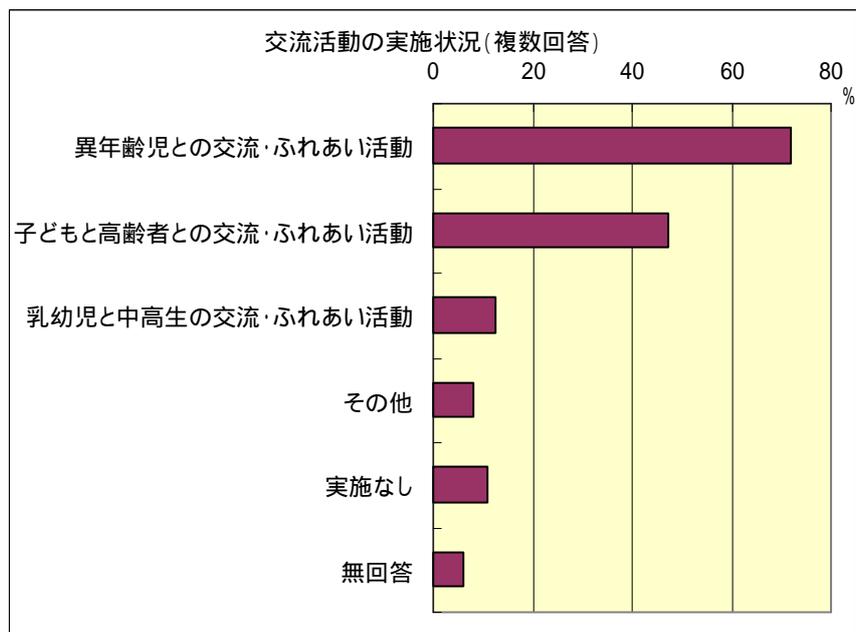
図 41



子育て支援活動の実施状況については、月4~10回が28.2%と最も多く、なしが25.7%、月1~3回が23.3%、月16回以上が8.6%、月11~15回が7.6%となっており、67.7%の児童館が少なくとも月1回の子育て支援活動を実施している。

(6) 交流活動の実施状況

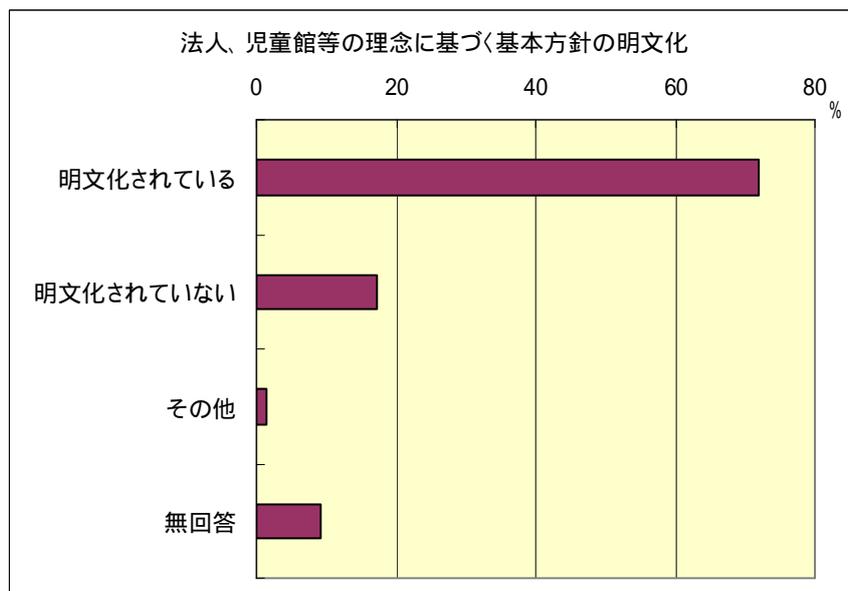
図 42



交流活動の実施状況(複数回答)については、異年齢児との交流・ふれあい活動が71.8%、子どもと高齢者との交流・ふれあい活動47.2%、乳幼児と中・高生の交流・ふれあい活動が12.4%、その他が8.1%、実施なしが11.1%となっている。

(7) 法人、児童館等の理念に基づく基本方針の明文化

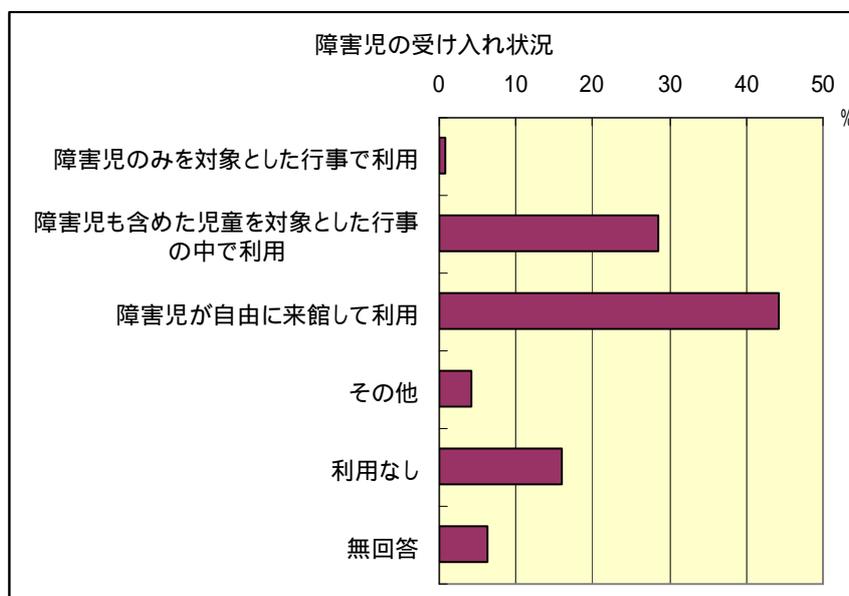
図 43



法人、児童館等の理念に基づく基本方針の明文化については、明文化されているが72.0%、明文化されていないが17.4%、その他が1.5%である。

(8) 障害児の受け入れ状況

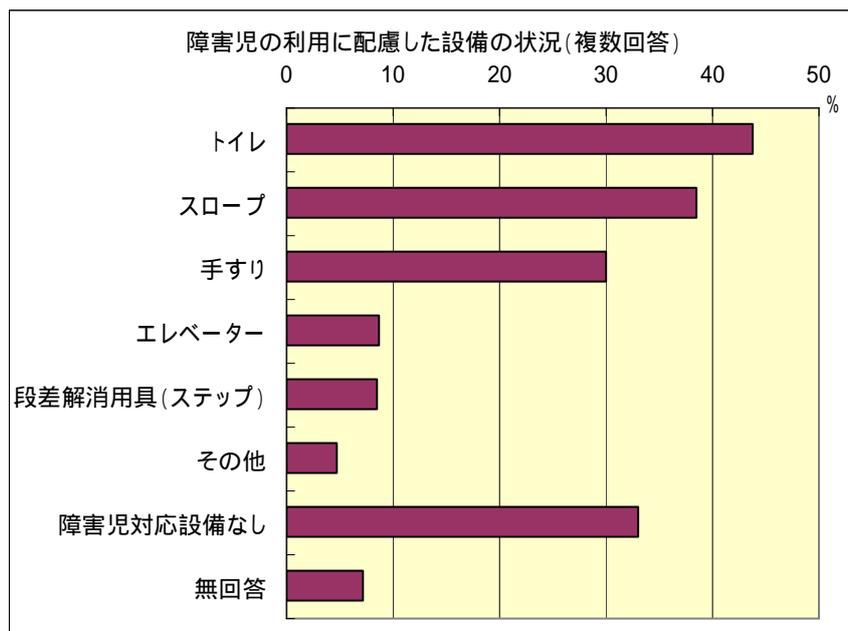
図 44



障害児の受け入れ状況については、障害児が自由に来館して利用が 44.3%、障害児も含めた児童を対象とした行事の中で利用が 28.6%、利用なしが 16.0%、その他が 4.2%、障害児のみを対象とした行事の中で利用が 0.7%となっており、77.8%の児童館で何らかの形で障害児が利用している。

(9) 障害児の利用に配慮した設備状況

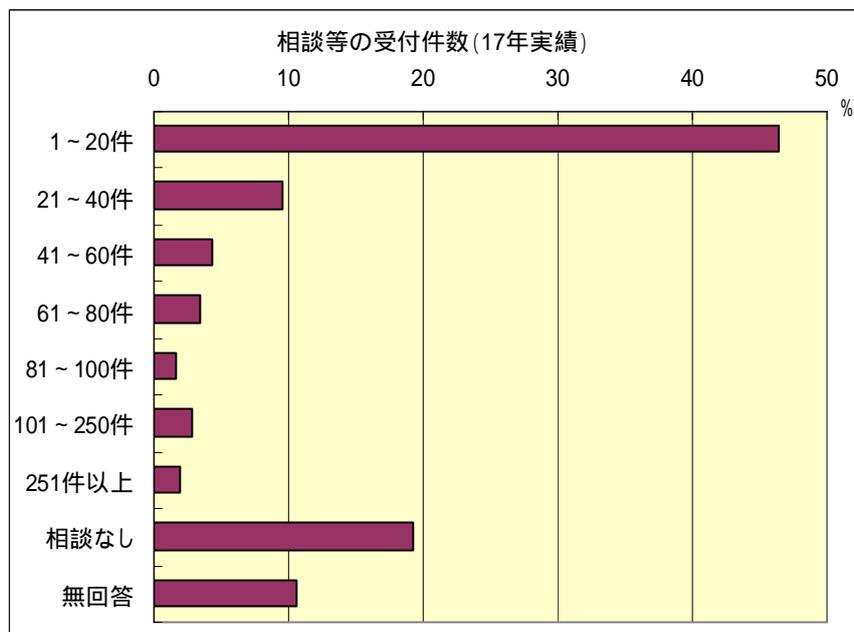
図 45



障害児の利用に配慮した設備状況（複数回答）については、トイレが 43.7%、スロープが 38.4%、障害児対応なしが 33.0%、手すりが 30.0%、エレベーターが 8.6%、段差解消用具（ステップ）が 8.5%、その他が 4.8%である。トイレについては 4 割以上、スロープや手すりは 3 割以上の児童館で障害児の利用に配慮しているが、障害児対応なしの児童館の割合（33.0%）は、図 43 における障害児の利用がない児童館の割合（16.0%）を上回っている。

(10) 相談等の受付件数

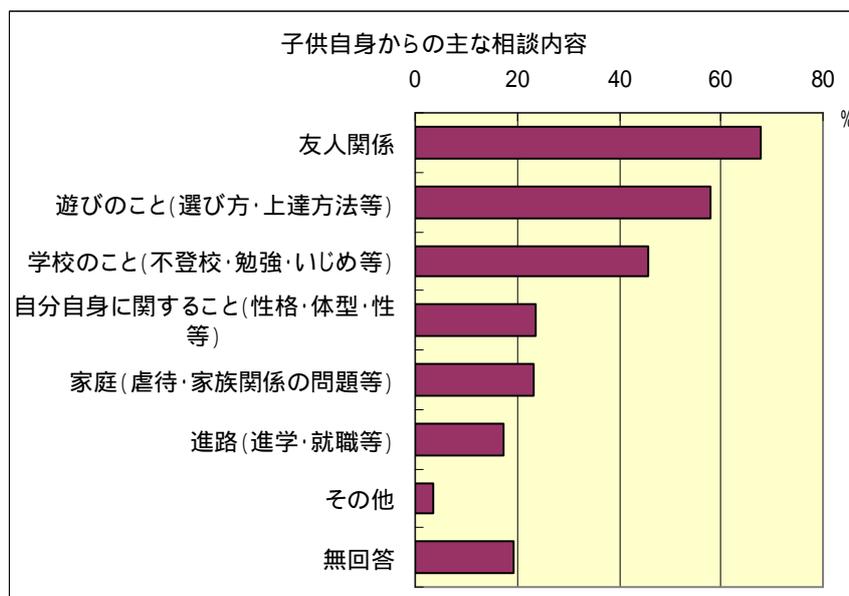
図 46



相談等の受付件数（平成 17 年度実績）は、1～20 件が 46.4%と最も多く、次いで相談なしが 19.2%、21～40 件が 9.6%、41～60 件が 4.3%、61～80 件が 3.4%、101～250 件が 2.9%、251 件以上が 2.0%、81～100 件が 1.7%となっている。

(11) 子ども自身からの主な相談事例

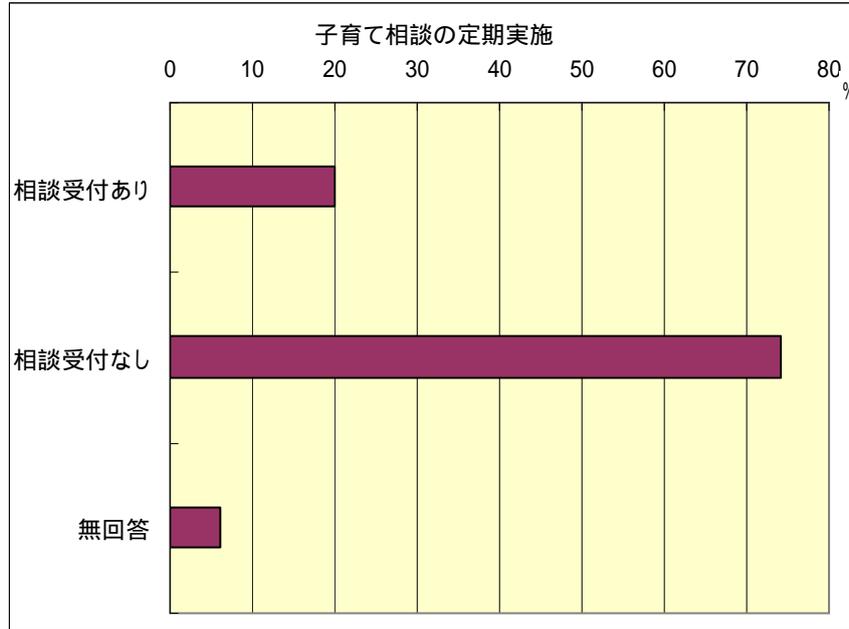
図 47



子ども自身からの主な相談事例（複数回答）については、友人関係が最も多く 67.9%、遊びのこと（遊び方・上達方法等）が 58.1%、学校のこと（不登校、勉強、いじめ等）が 45.6%、自分自身に関する事（性格、体型、性等）が 23.8%、家庭（虐待、家族関係の問題等）が 23.1%、進路（進学、就職等）が 17.4%となっている。

(12) 子育て相談の定期実施

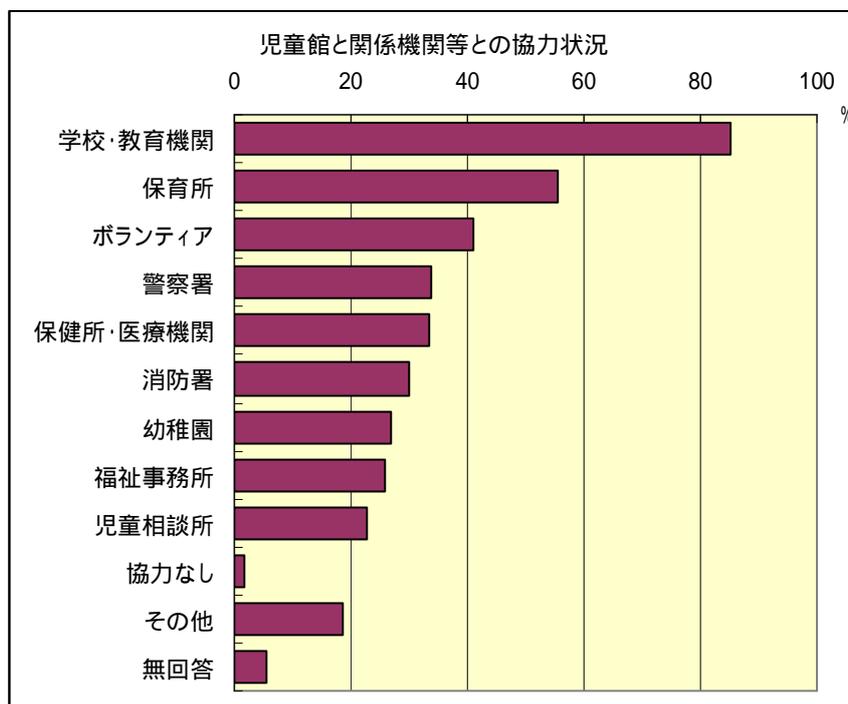
図 48



子育て相談の定期実施については、相談受付ありが 19.9%、相談受付なしが 74.1%であり、多くの児童館で定期的な子育て相談を実施していない。

(13) 関係機関等との協力

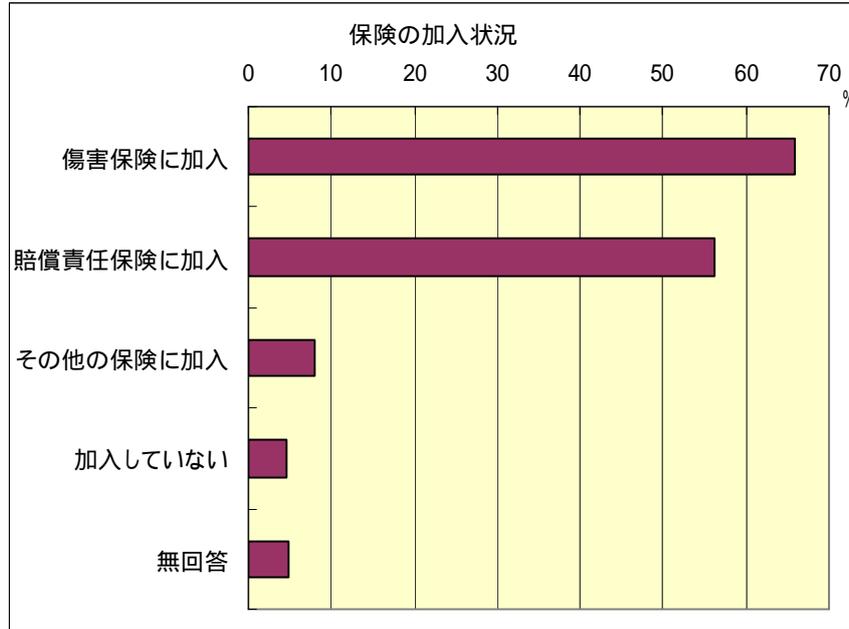
図 49



児童館と協力関係にある関係機関等として、学校・教育機関を挙げた児童館は 85.1%、保育所が 55.5%、ボランティアが 41.0%、警察署が 33.8%、保険所・医療機関が 33.6%、消防署が 30.1%、幼稚園が 26.9%、福祉事務所が 26.0%、児童相談所が 22.7%、その他が 18.6%、協力なしが 1.6%である。ほとんどの児童館で関係機関等と協力しており、特に学校・教育機関と協力している児童館の割合は高い。

(14) 保険の加入状況

図 50

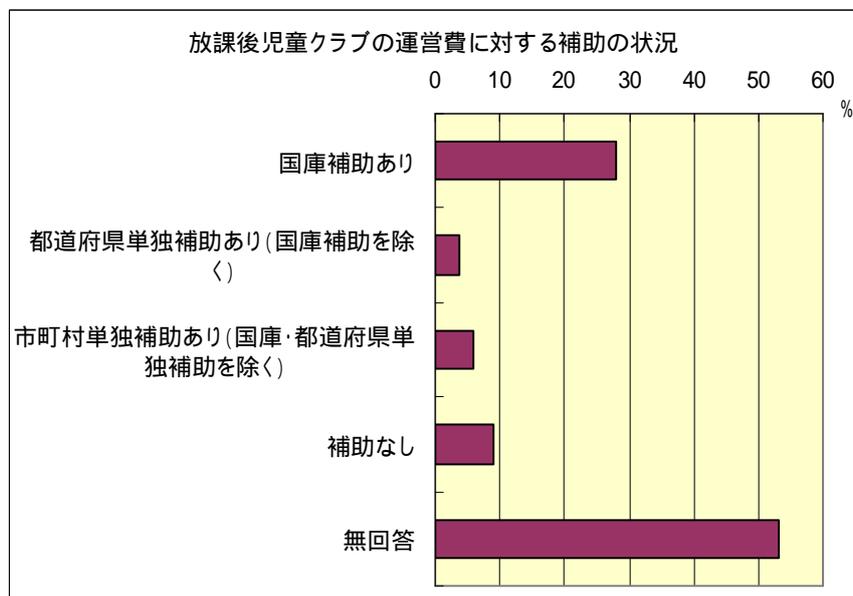


保険の加入状況については、傷害保険に加入が 65.8%、賠償責任保険に加入が 56.1%、その他の保険に加入が 7.9%、加入していないが 4.7%である。

8. 放課後児童クラブについて

(1) 運営費に対する補助の状況

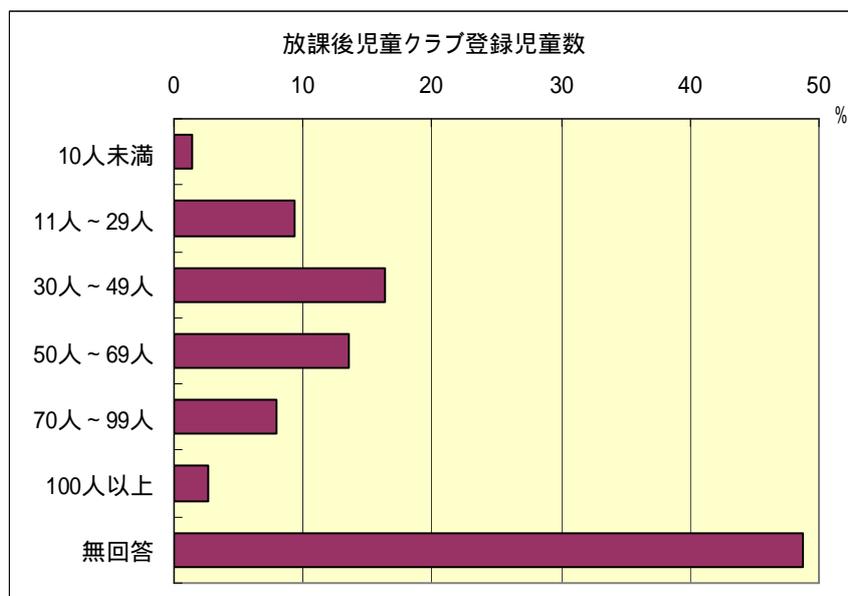
図 51



放課後児童クラブ運営費に対する補助の状況は、国庫補助ありが 28.0%、補助なしが 8.9%、(国庫、都道府県補助を除いた)市区町村の単独補助ありが 5.9%、(国庫補助を除いた)都道府県の単独補助ありが 3.7%である。

(2) 登録児童数

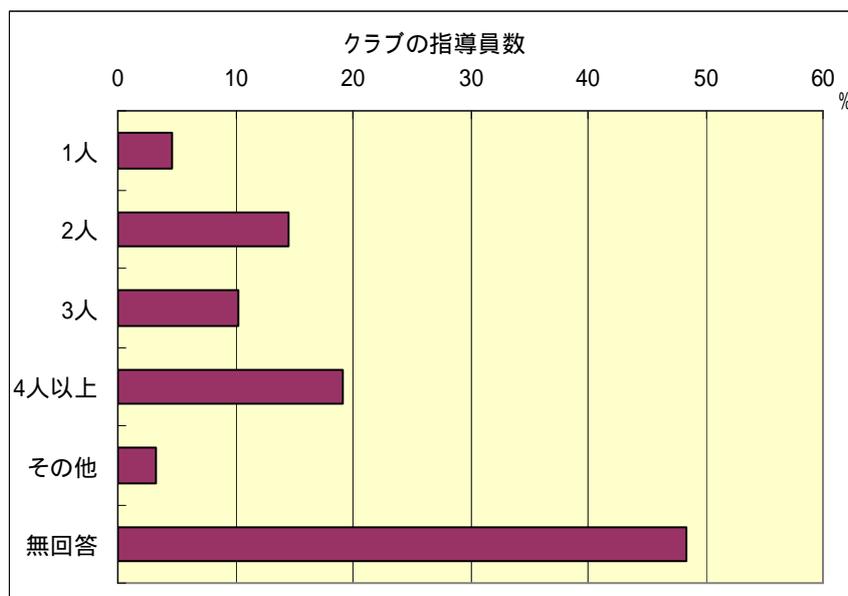
図 52



放課後児童クラブへの登録児童数は、30人～49人が16.4%と最も多く、次いで50人～69人が13.5%、10人～29人が9.4人、70人～99人が8.0%、100人以上が2.6%、10人未満が1.4%である。

(3) クラブの指導員数

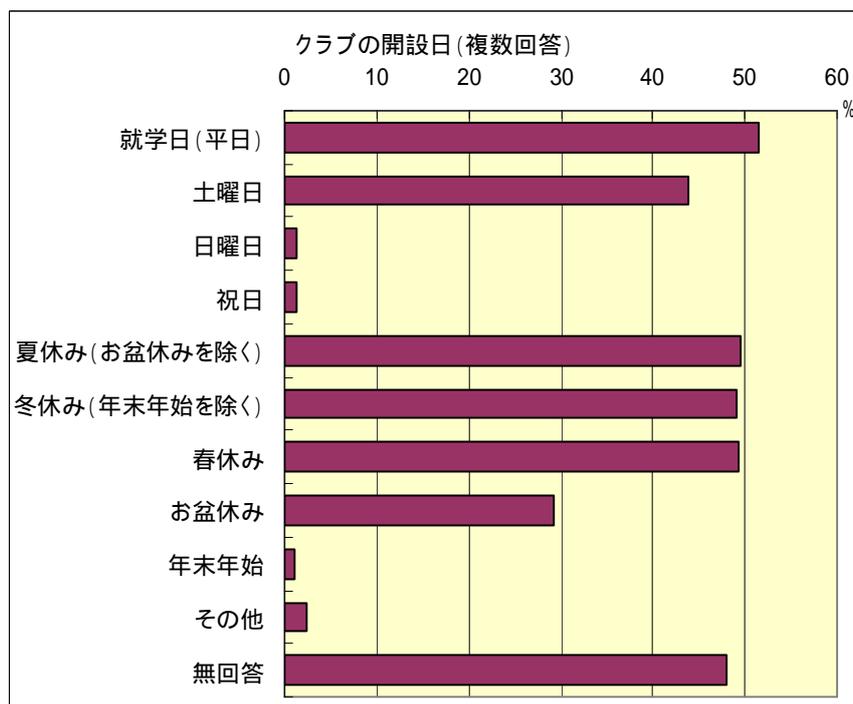
図 53



放課後児童クラブの指導員数は、4人以上が19.1%、2人が14.5%、3人が10.2%、1人が4.7%、その他が3.3%である。

(4) クラブの開設日

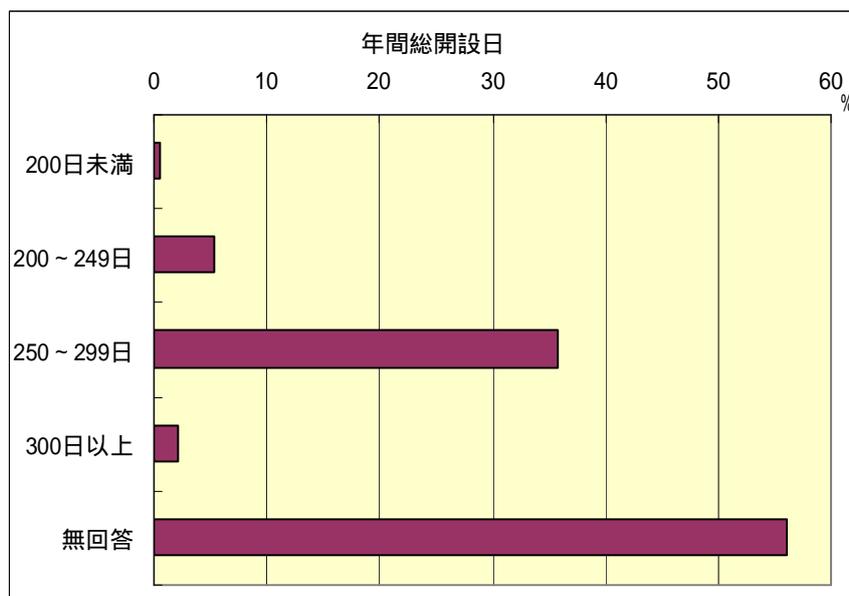
図 54



放課後児童クラブの開設日(複数回答)については、就学日(平日)が51.5%、(お盆休みを除く)夏休みが49.6%、(年末年始を除く)冬休みが49.1%、春休みが49.2%、土曜日が43.9%、お盆休みが29.2%、その他が2.3%、日曜日が1.4%、祝日が1.3%、年末年始が1.1%となっている。無回答を除くとほとんどのクラブの開設日は就学日(平日)、夏休み、冬休み、春休みであり、土曜日開設のクラブは就学日(平日)より少ない。

(5) 年間総開設日数

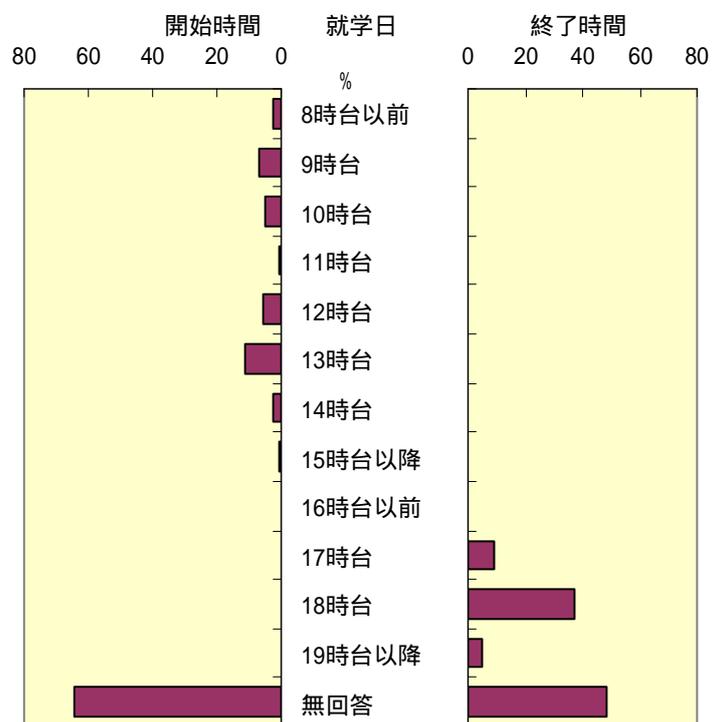
図 55



放課後児童クラブの年間総開設日数は、250日～299日が35.8%と最も多く、200日～249日が5.4%、300日以上が2.2%、200日未満が0.6%である。

(6) 就学日の開始時間・終了時間

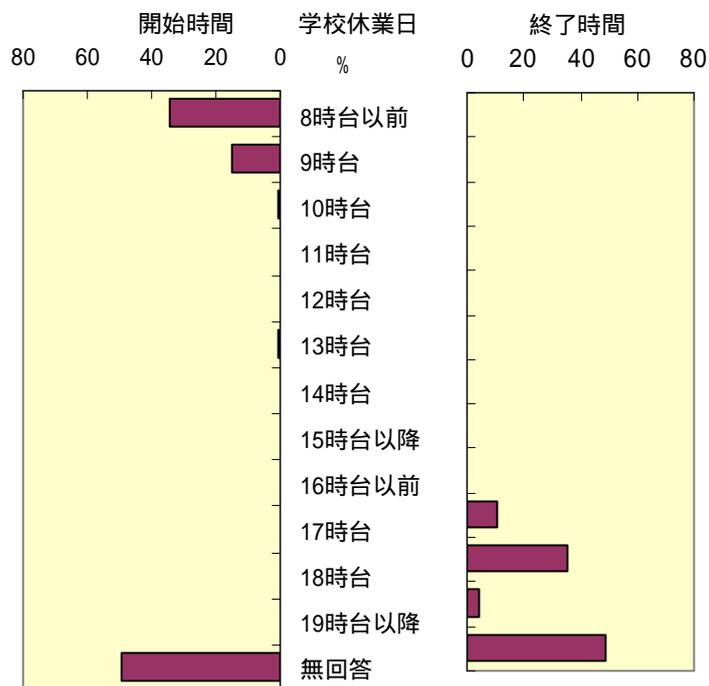
図 56



就学日における放課後児童クラブの開始時間は、13時台が最も多く11.4%、9時台が7.1%、12時台が5.6%、10時台が5.0%、8時台以前が2.6%、14時台が2.5%である。終了時間は、18時台が37.4%、17時台が9.4%、19時台以降が4.6%である。

(7) 学校休業日の開始時間・終了時間

図 57

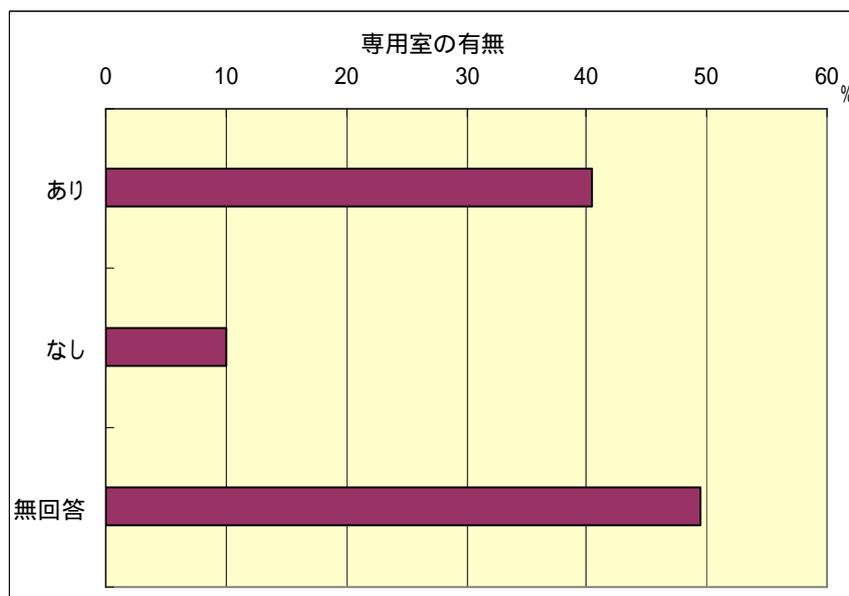


学校休業日における放課後児童クラブの開始時間は、8時台以前が34.4%と最も多く、次いで9時台が14.9%、10時台と13時台が0.6%となっている。終了時間は18時台が35.2%で最も多く、17時台が10.7%、19時台以降が4.3%、16時台以前が0.6%である。

就学日と比べると、学校休業日の開始時間は8時台以前、9時台の割合が高く、開始時間は早くなっているが、終了時間はあまり変わらない。

(8) 専用室の有無

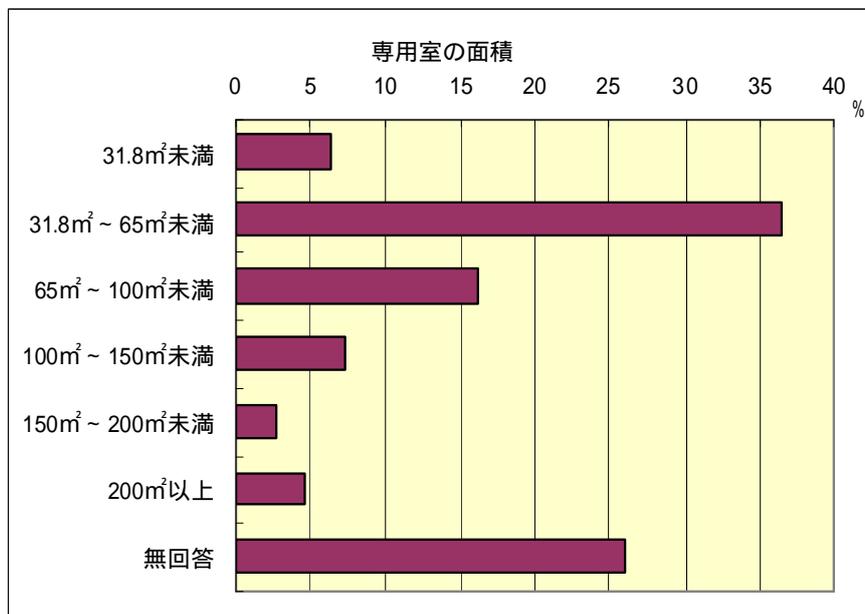
図 58



放課後児童クラブ専用室の有無については、専用室ありが 40.5%、専用室なしが 10.0% であり、専用室ありが専用室なしを大きく上回っている。

(9) 専用室の面積

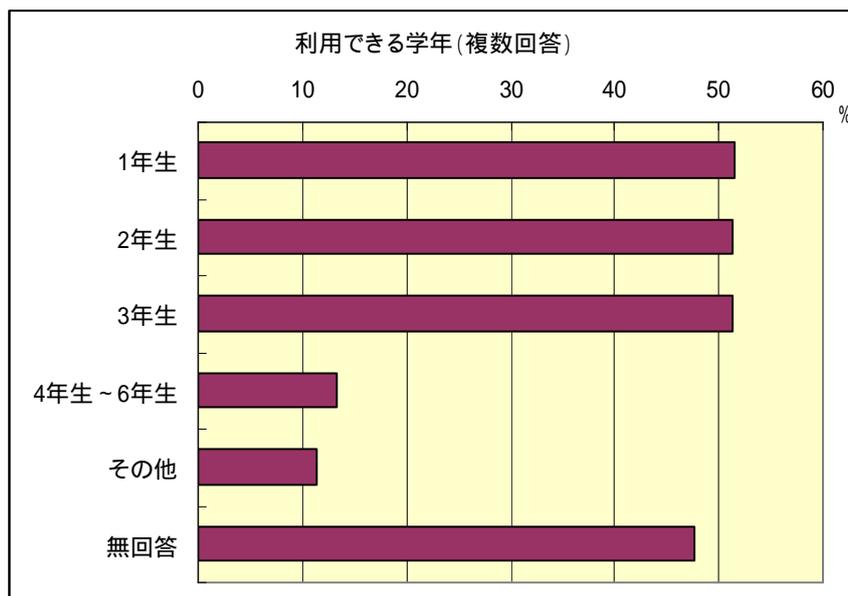
図 59



放課後児童クラブ専用室の面積については、31.8 m²～65 m²未満が 36.5%と最も多く、65 m²～100 m²未満が 16.2%、100 m²～150 m²未満が 7.4%、31.8 m²未満が 6.4%、200 m²以上が 4.7%、150 m²～200 m²未満が 2.7%である。

(10) 利用できる学年

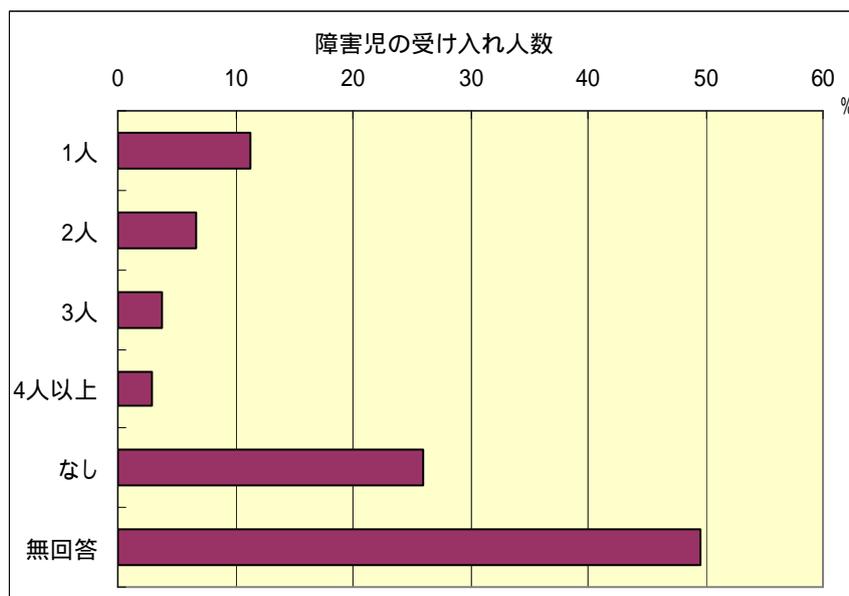
図 60



放課後児童クラブを利用できる学年(複数回答)は、1年生が 51.5%、2年生が 51.4%、3年生が 51.3%、4年生～6年生が 13.4%、その他が 11.3%であり、1年生から3年生まではあまり変わらないが、4年生～6年生になると1年生の3分の1にまで減少している。

(11) 障害児の受け入れ

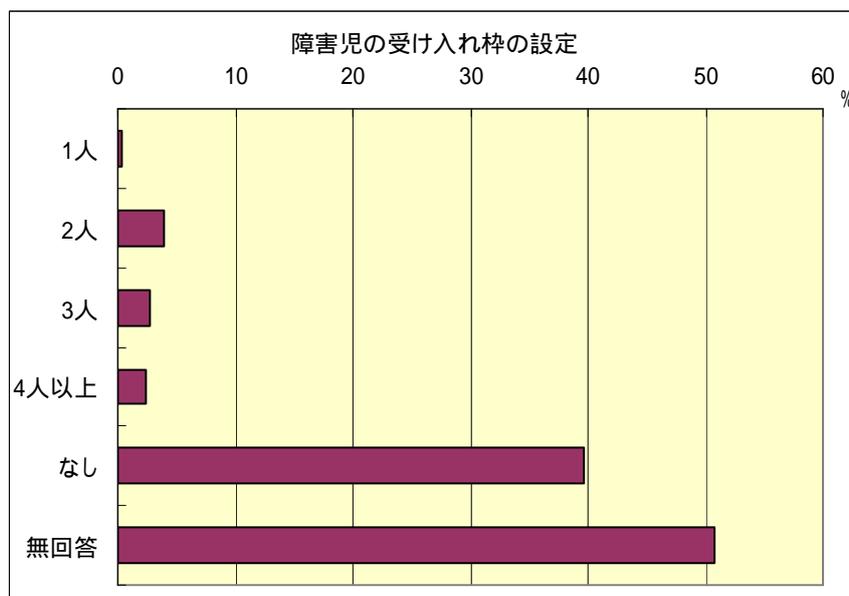
図 61



放課後児童クラブの障害児の受け入れ人数については、受け入れなしが 25.9%と最も多く、次いで1人が11.2%、2人が6.6%、3人が3.8%、4人以上が2.9%であり、受け入れなしは1人から4人以上までの各階級を合わせた24.5%より多い。

(12) 障害児の受け入れ枠の設定

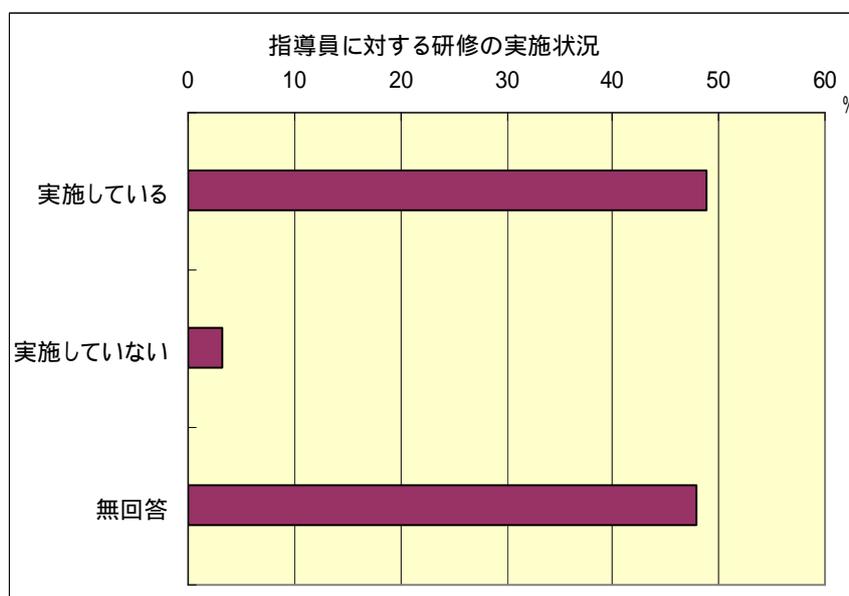
図 62



障害児の受け入れ枠の設定状況に関しては、なしが 39.7%で最も多く、2 人が 4.0%、3 人が 2.7%、4 人以上が 2.4%、1 人が 0.4%である。

(13) 指導員に対する研修の実施

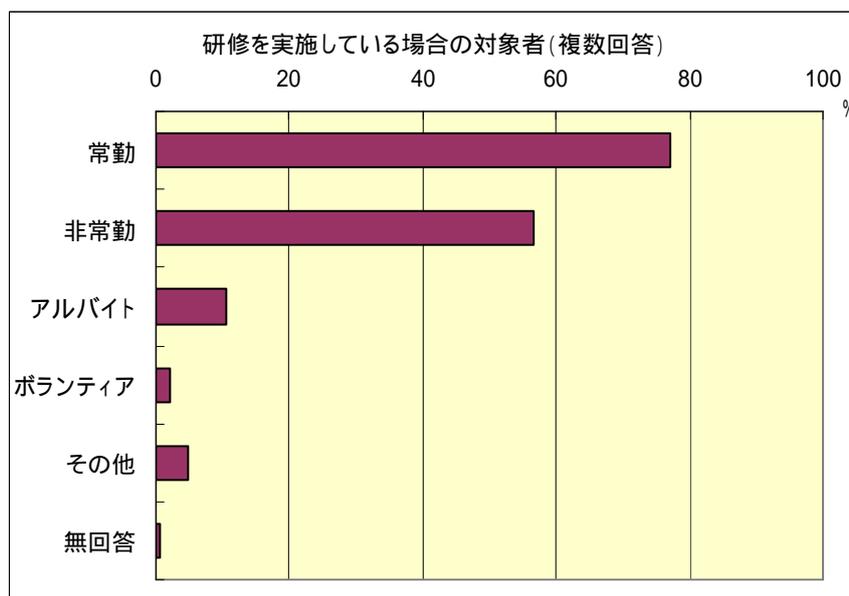
図 63



放課後指導クラブ指導員に対する研修の実施状況は、実施しているが 48.8%、実施していないが 3.3%と、実施しているが実施していないを大きく上回っている。

(14) 研修を実施している場合の対象者

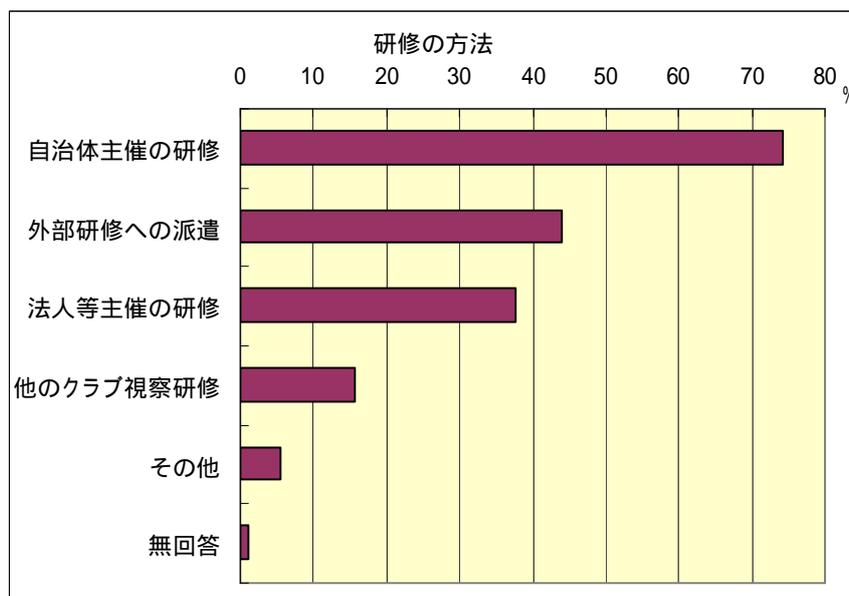
図 64



研修を実施している場合の研修対象者(複数回答)については、常勤職員が 77.0%、非常勤職員が 56.6%、アルバイトが 10.4%、ボランティアが 2.2%、その他が 4.8%である。

(15) 研修の方法

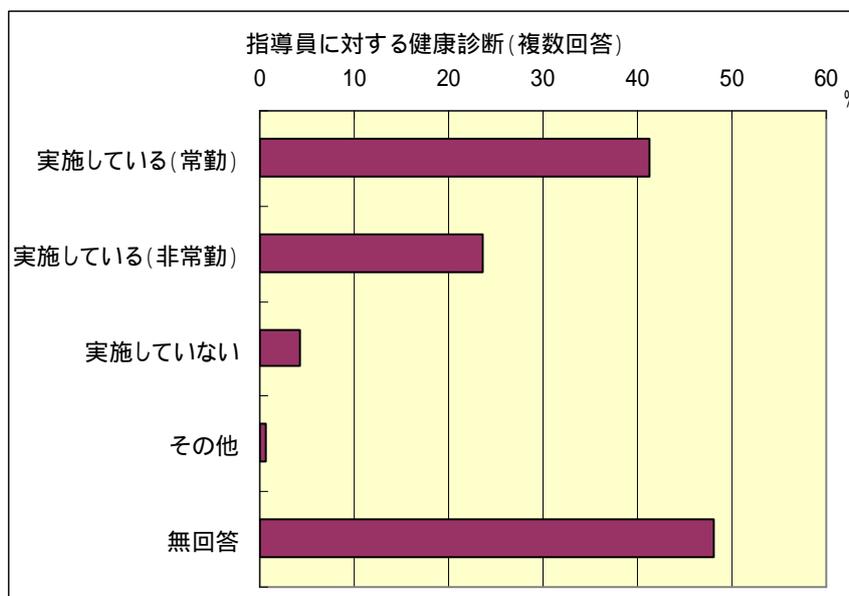
図 65



研修の方法（複数回答）については、自治体主催の研修が 74.3%、次いで外部研修への派遣が 44.0%、法人等主催の研修が 37.6%、他のクラブの視察研修が 15.8%、その他が 5.4% である。放課後児童クラブの研修においては、自治体主催の研修がその他の項目を大きく上回り、自治体が研修の中心となっている。

(16) 指導員に対する健康診断

図 66



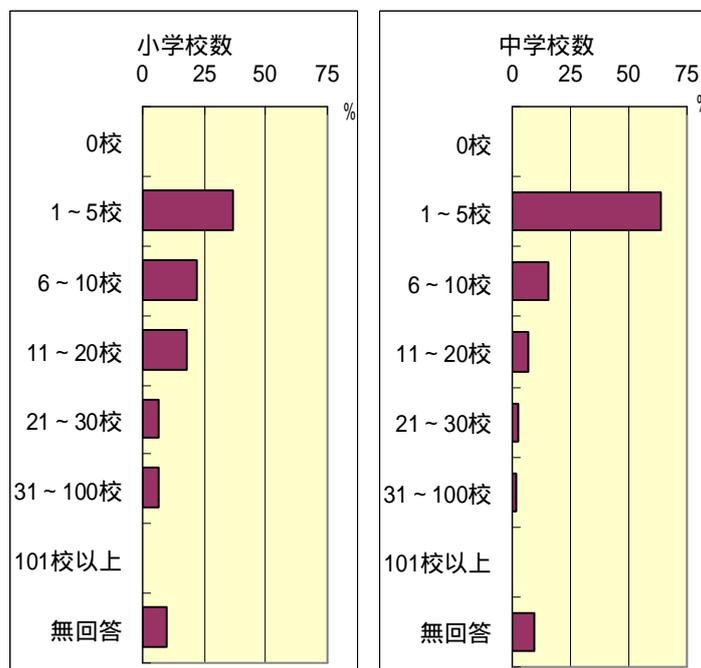
放課後児童クラブ指導員に対する健康診断(複数回答)については、常勤職員に対して実施しているが41.2%、非常勤職員に対して実施しているが23.7%、実施していないが4.3%、その他が0.4%である。

第3章 児童館に関する自治体の現状

1. 自治体規模

(1) 学校数

図 67



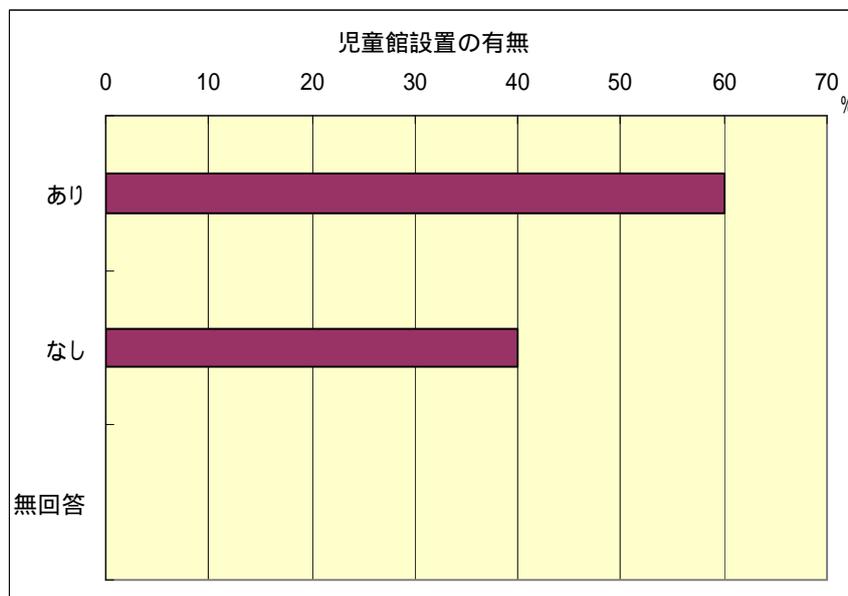
調査自治体にある小学校数については、1~5校が36.8%と最も多く、次いで6~10校が22.4%、11~20校が17.6%、21~30校が6.4%、31~100校が6.2%である。

中学校数については、1~5校が63.6%と最も多く、次いで6~10校が15.1%、11~20校が7.3%、21~30校が2.4%、31~100校が1.5%である。

2. 児童館の設置状況について

(1) 児童館設置の有無

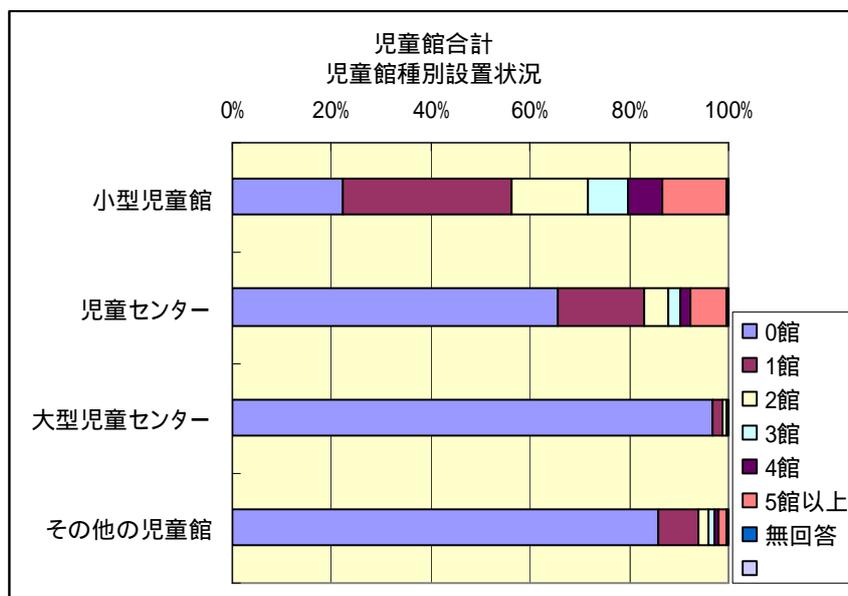
図 68



児童館や児童センターの設置の有無については、設置ありが 60.0%、設置なしが 40.0% であり、6 割の自治体が児童館または児童センターを設置している。

(2) 児童館種別設置状況

図 69



児童館全体の種別設置状況をみると、小型児童館については0館が22.4%、1館が34.0%、2館が15.2%、3館が8.3%、4館が6.7%、5館以上が13.2%である。

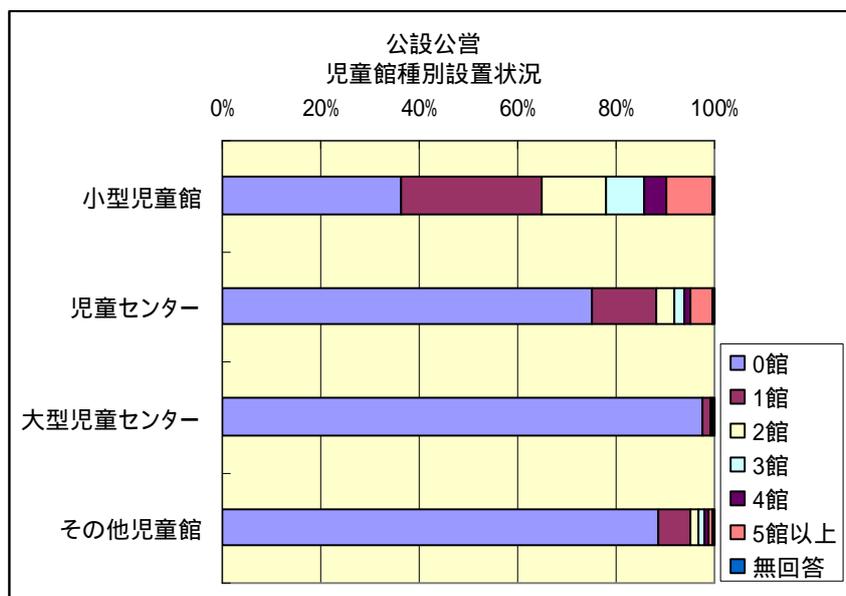
児童センターについては、0館が65.7%、1館が17.1%、2館が5.0%、3館が2.5%、4館が2.1%、5館以上が7.3%である。

大型児童センターについては、0館が96.8%、1館が2.1%、2館が0.7%、3館、4館が0.0%、5館以上が0.1%である。

その他の児童館については、0館が85.8%、1館が8.1%、2館が2.1%、3館が1.3%、4館が0.7%、5館以上が1.7%である。

(3) 公設公営児童館の児童館種別設置状況

図 70



公設公営児童館の設置状況を児童館の種類別にみると、小型児童館について0館が36.4%、1館が28.5%、2館が13.2%、3館が7.6%、4館が4.7%、5館以上が9.4%となっている。

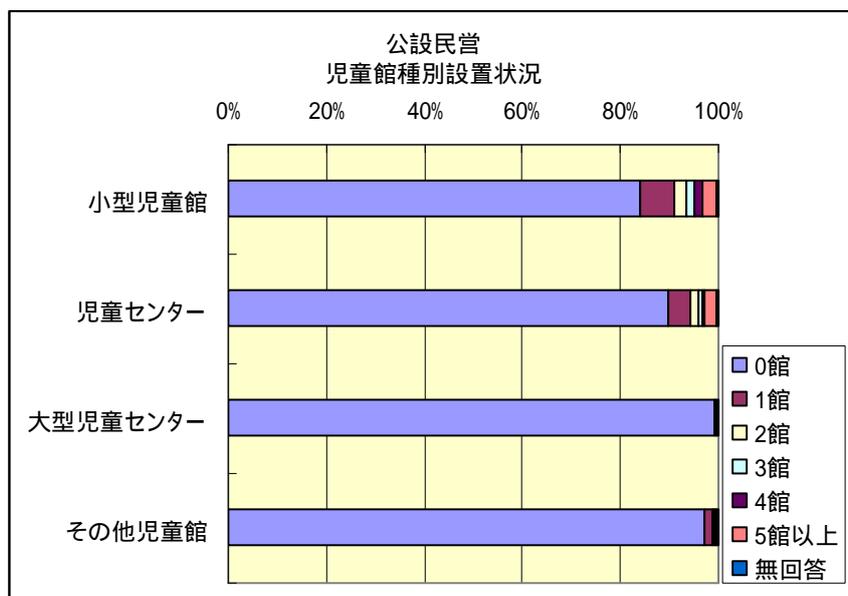
児童センターについては、0館が74.9%、1館が13.4%、2館が3.4%、3館が2.0%、4館が1.4%、5館以上が4.6%である。

大型児童センターは、0館が97.5%、1館が1.7%、2館が0.4%、3館と4館が0.0%、5館以上が0.1%である。

その他の児童館については、0館が88.5%、1館が6.8%、2館が1.5%、3館が1.2%、4館が0.7%、5館以上が1.0%である。

(4) 公設民営児童館の児童館種別状況

図 71



公設民営児童館の設置状況を児童館の種類別にみると、小型児童館について0館が84.1%、1館が7.0%、2館が2.5%、3館が1.6%、4館が1.4%、5館以上が3.1%である。

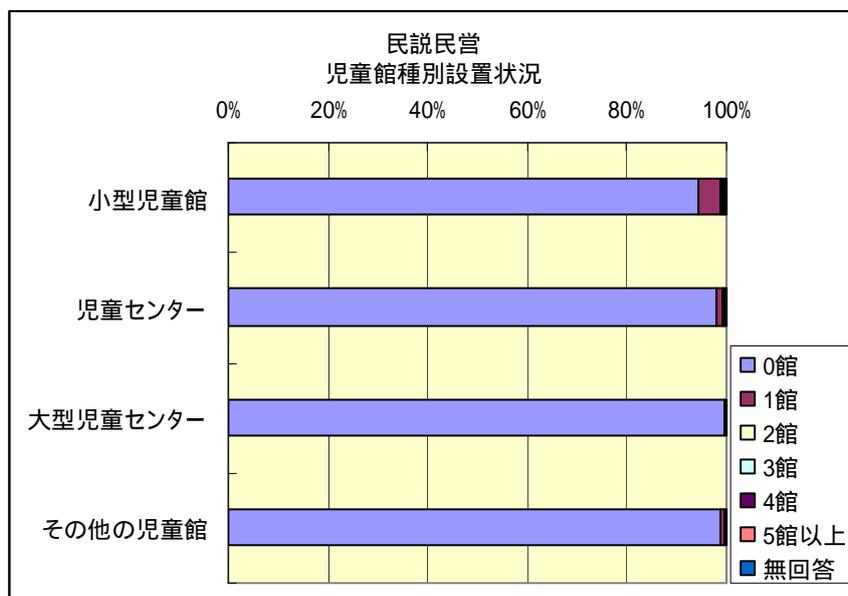
児童センターについては、0館が89.6%、1館が4.7%、2館が1.6%、3館が0.9%、4館が0.2%、5館以上が2.7%である。

大型児童センターについては、0館が99.1%、1館が0.5%、2館が0.1%、3館、4館、5館以上がともに0.0%である。

その他の児童館については、0館が97.1%、1館が1.5%、2館が0.1%、3館が0.2%、4館が0.1%、5館が0.7%である。

(5) 民設民営児童館の児童館種別設置状況

図 72



民設民営児童館の設置状況を児童館の種類別にみると、小型児童館について0館が94.4%、1館が4.3%、2館が0.6%、3館が0.1%、4館が0.1%、5館以上が0.2%である。

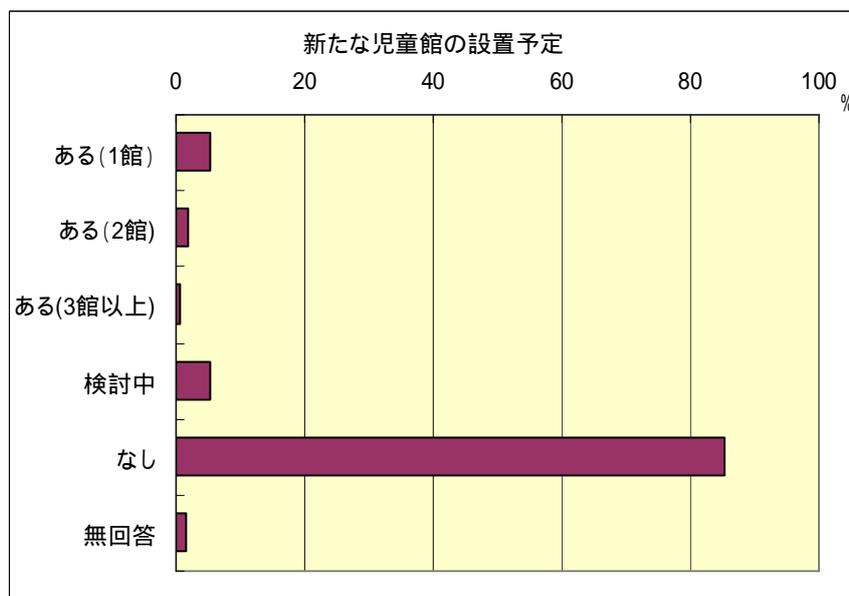
児童センターについては、0館が98.1%、1館が1.1%、2館が0.3%、3館が0.1%、4館が0.0%、5館以上が0.1%である。

大型児童センターについては、0館が99.4%、1館が0.3%、2館、から5館以上の各階級とも0.0%である。

その他の児童館については、0館が98.9%、1館が0.6%、2館が0.2%、3館、4館、5館以上がともに0.0%である。

(6) 新たな児童館の設置予定

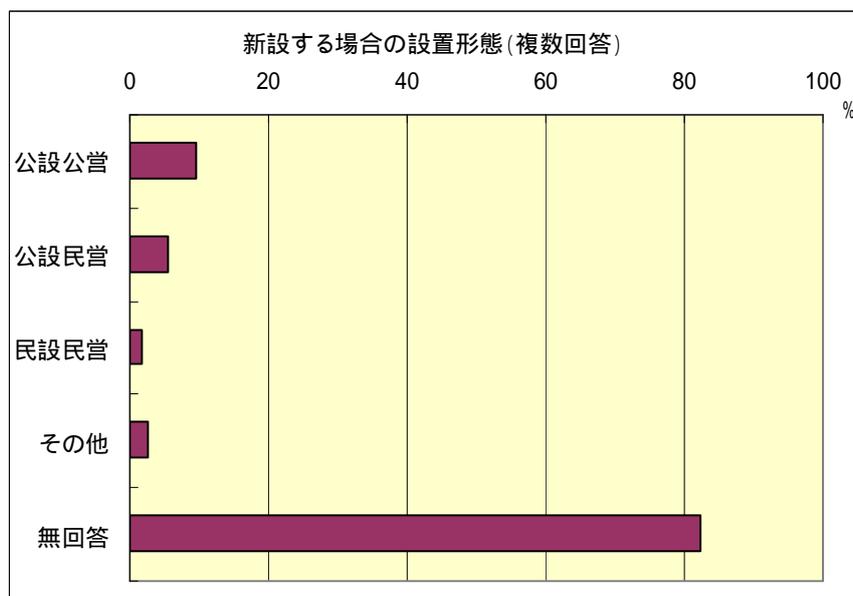
図 73



平成21年度末までに予定している新たな児童館の設置数については、1館が5.2%、2館が1.8%、3館以上が0.7%、検討中が5.3%、予定なしが85.3%となっており、7.7%の自治体で新たな児童館の設置を予定している。

(7) 新設する場合の運営形態

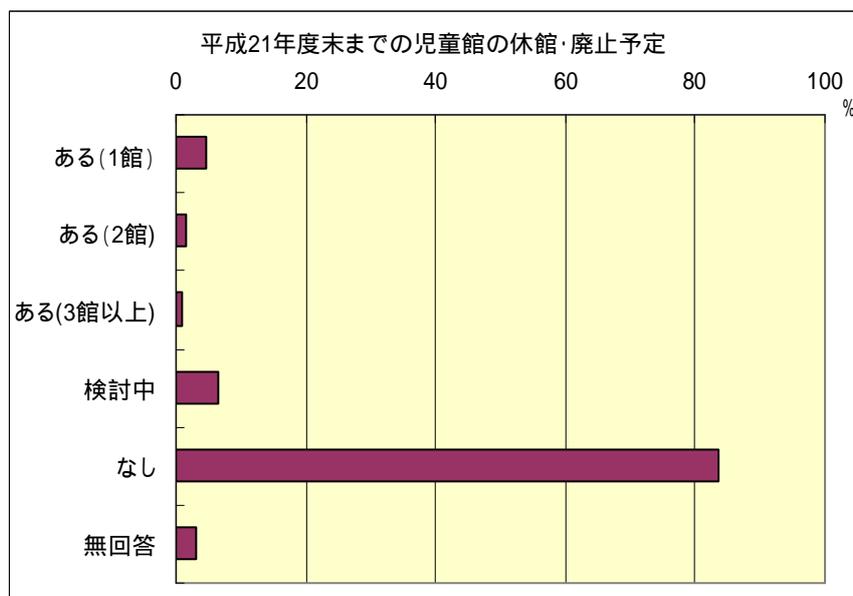
図 74



児童館を設置する場合の運営形態（複数回答）については、公設公営が9.6%、公設民営が5.6%、民設民営が1.7%、その他が2.6%である。公営と民営（公設民営と民設民営の合計）の比率は1.3であり、現状の公営児童館と民営児童館の比率が2.1（図2より）と比べて、新設の児童館では民営の児童館の比率が高くなっている。

(8) 児童館の休館・廃止予定

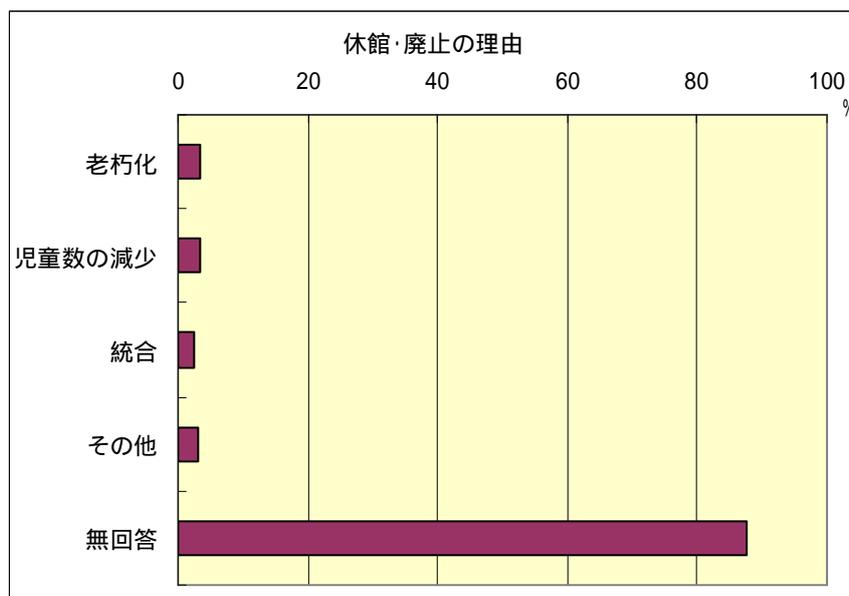
図 75



平成 21 年度末までに予定している児童館の休館・廃止数については、1 館が 4.5%、2 館が 1.4%、3 館以上が 0.8%、検討中が 6.4%となっている。新設予定（図 72）と比べると、1 館と 2 館では新設予定が休館・廃止予定を上回っており、3 館以上と検討中では休館・廃止予定が新設予定を上回っている。

(9) 休館・廃止の理由

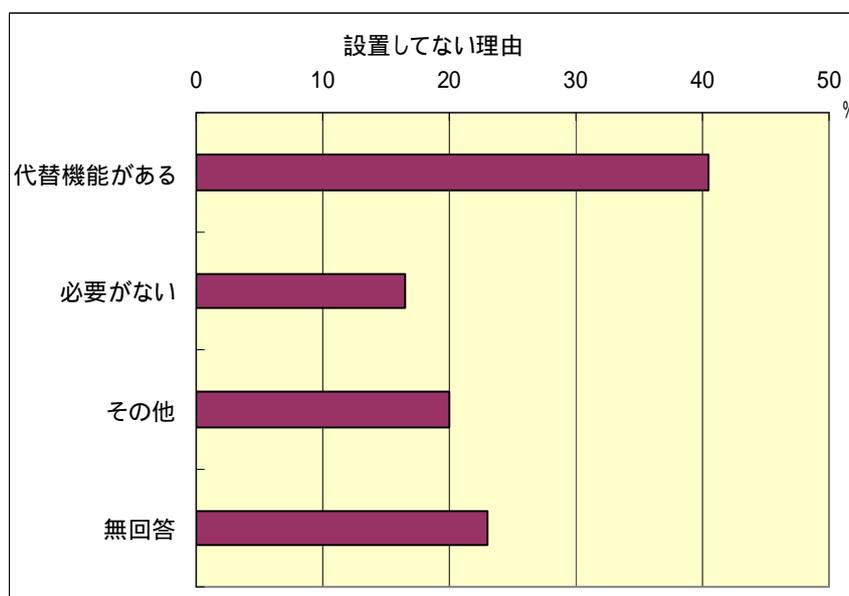
図 76



児童館を休館または廃止する理由については、老朽化が 3.5%、児童数の減少が 3.4%、統合が 2.5%、その他が 3.1%となっている。

(10) 児童館を設置していない理由

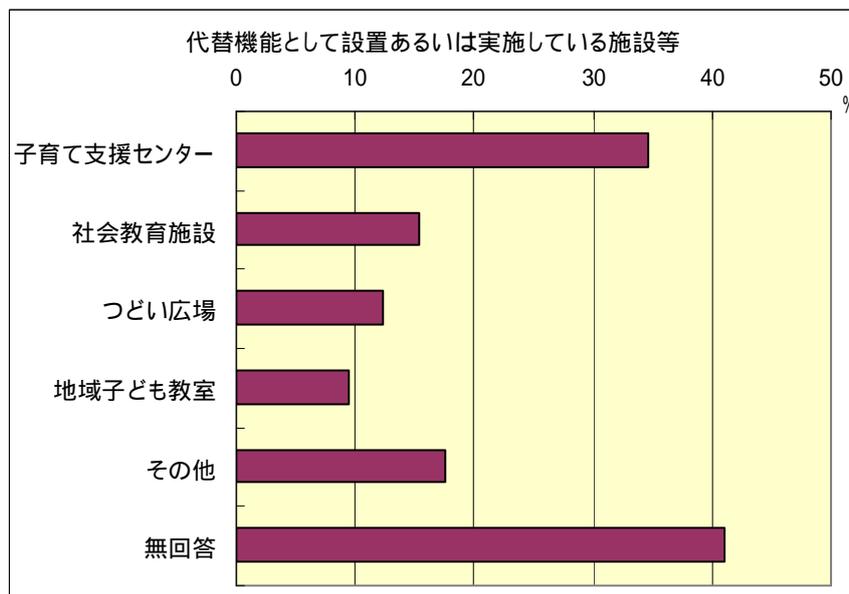
図 77



児童館を設置していない理由は、代替機能があるが 40.5%、必要がないが 16.5%、その他が 20.0%である。

(11) 児童館の代替機能について

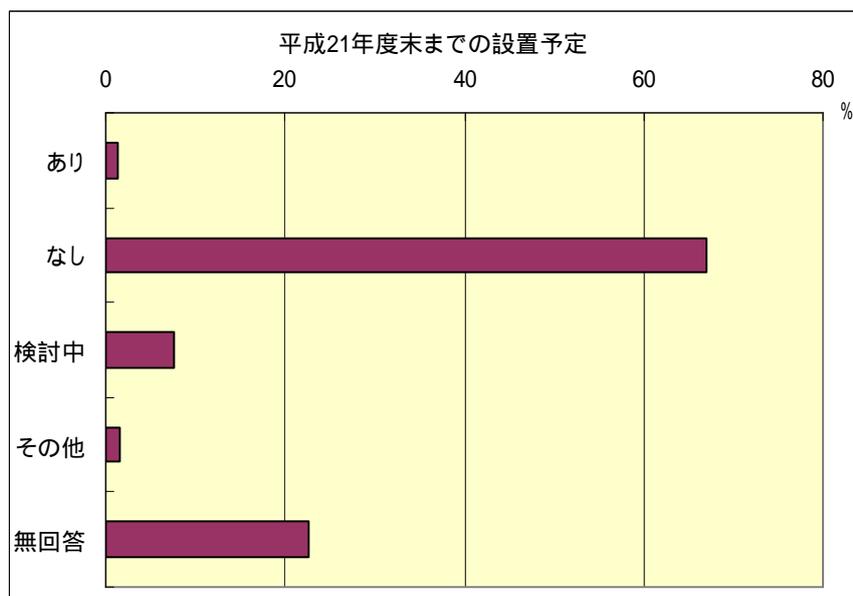
図 78



児童館の代替機能として設置あるいは実施している施設等については、子育て支援センターが 34.6%、社会教育施設が 15.4%、つどい広場が 12.3%、地域子ども教室が 9.4%、その他が 17.6%となっている。

(12) 今後の設置予定

図 79

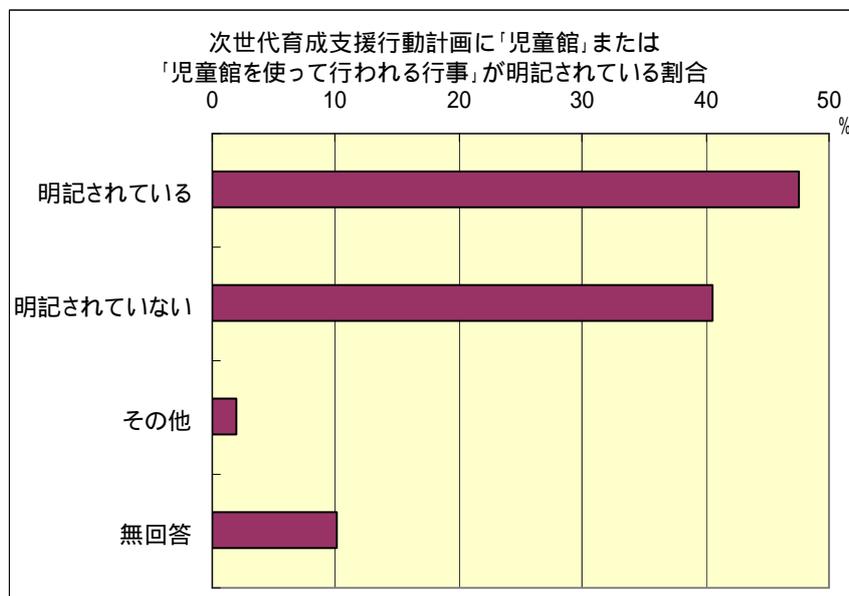


平成 21 年度末までに児童館を設置する予定については、予定ありが 1.3%、予定なしが 66.9%、検討中が 7.6%、その他 1.5%である。

3. 次世代育成支援行動計画との関連

(1) 行動計画への児童館の明記

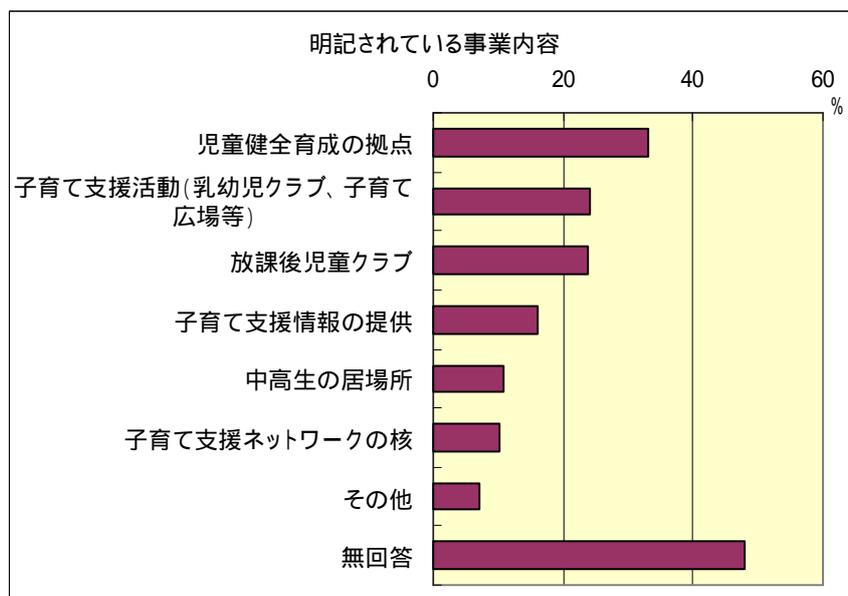
図 80



次世代育成支援行動計画への「児童館」または「児童館を使う行事」の明記の有無については、明記されているが 47.5%、明記されていないが 40.5%、その他が 1.9%である。

(2) 明記されている事業内容

図 81

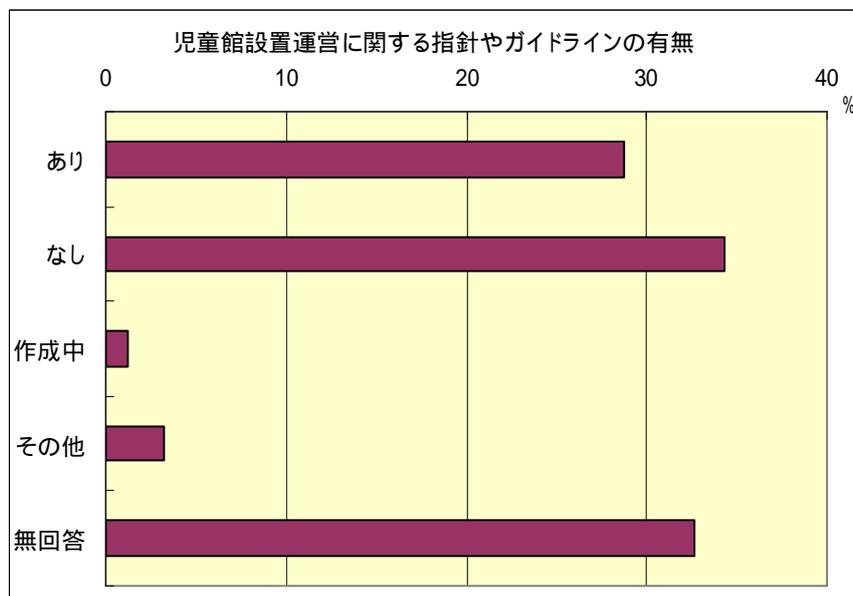


次世代育成支援行動計画へ明記されている事業内容は、児童健全育成の拠点が 33.1%、乳幼児クラブや子育て広場等の子育て支援活動が 24.1%、放課後児童クラブが 23.7%、子育て支援情報の提供が 16.0%、中高生の居場所が 10.7%、その他 7.0%となっている。

4. 児童館の運営内容

(1) 児童館設置運営に関する指針やガイドラインの有無

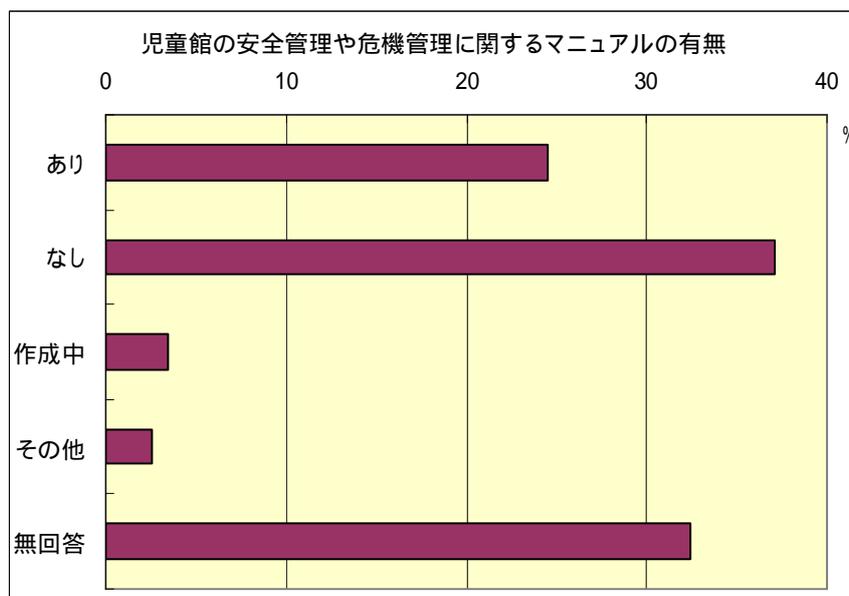
図 82



児童館設置運営に関する指針やガイドラインの有無については、ありが 28.8%、なしが 34.3%、作成中が 1.2%、その他が 1.2%となっており、作成中を含めても指針やガイドラインがある自治体がない自治体を 4.3%下回っている。

(2)安全管理や危機管理に関するマニュアル等の有無

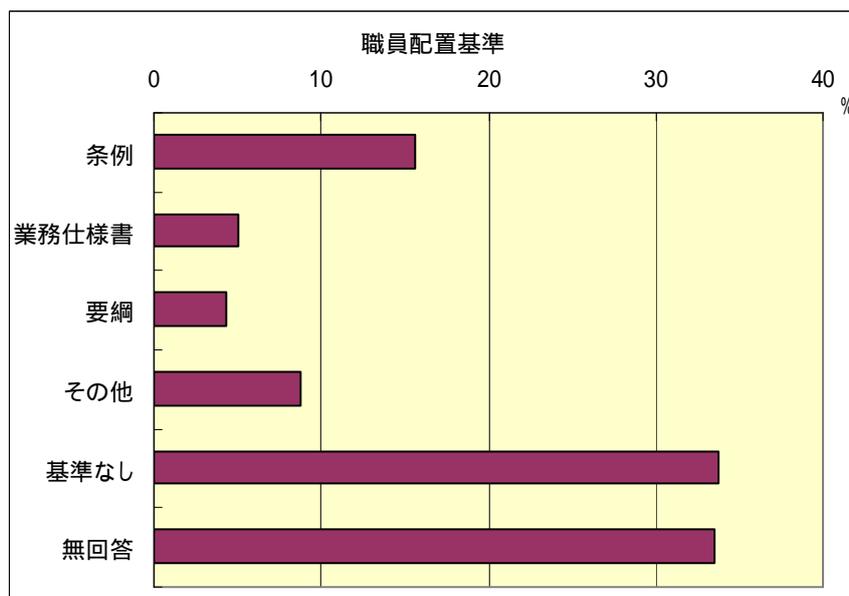
図 83



児童館の安全管理や危機管理に関するマニュアルの有無については、ありが 24.5%、なしが 37.1%、作成中が 3.5%、その他が 2.5%となっており、作成中を含めてもマニュアルありがマニュアルなしを 9.1%下回っている。

(3) 職員の配置基準

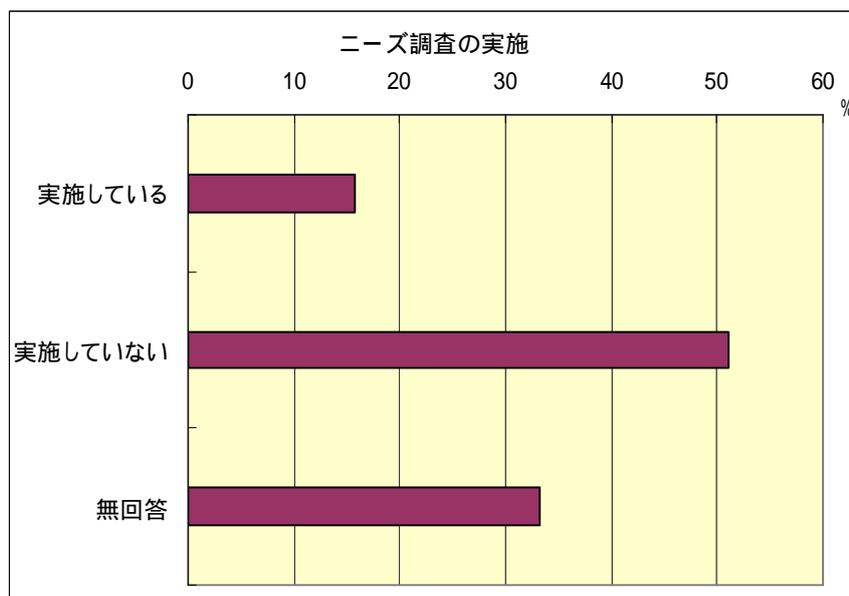
図 84



職員の配置基準は、条例が 15.6%、業務仕様書が 5.0%、要綱が 4.3%、その他が 8.8%、基準なしが 33.8%である。条例、業務仕様書、要綱、その他を合計した「基準あり」は 33.7% となり、基準なしとほぼ同じ割合となっている。

(4) 児童館利用者等に対するニーズ調査

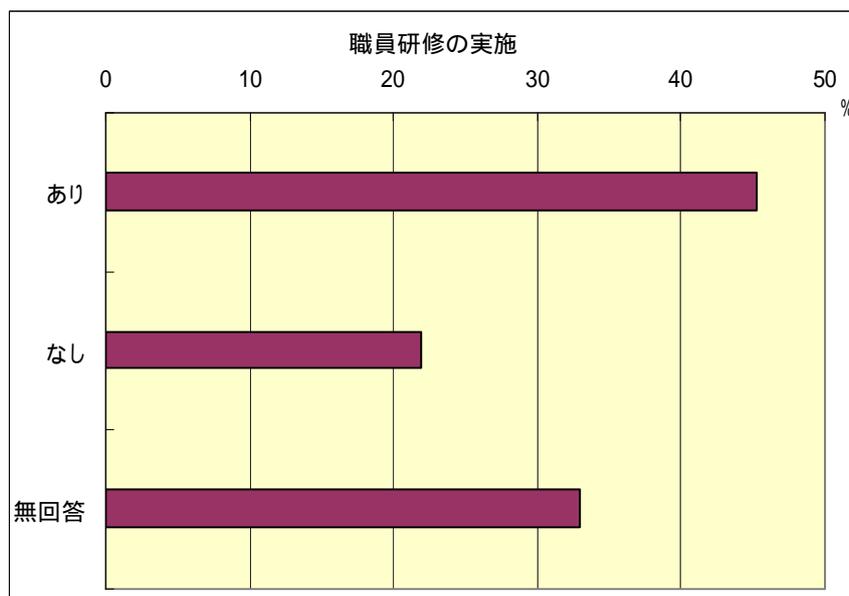
図 85



児童館利用者等に対するニーズ調査の実施状況については、実施しているが 15.7%、実施していないが 51.0%であり、実施していない自治体の実施している自治体を 3 倍以上上回っている。

(5) 職員研修の有無

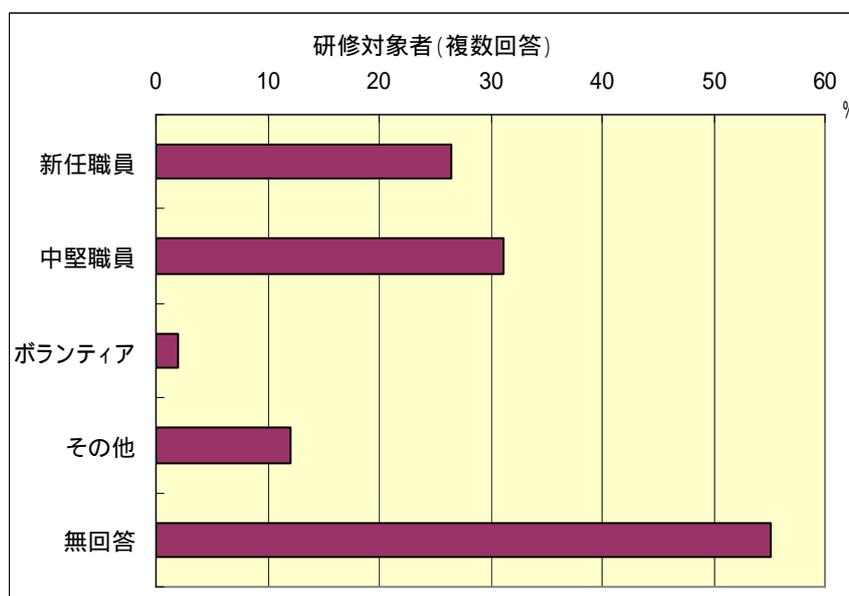
図 86



職員研修の実施については、実施ありが 45.2%、実施なしが 21.9%であり、研修を実施している自治体が実施していない自治体を倍以上上回っている。

(6) 実施している場合の研修対象者

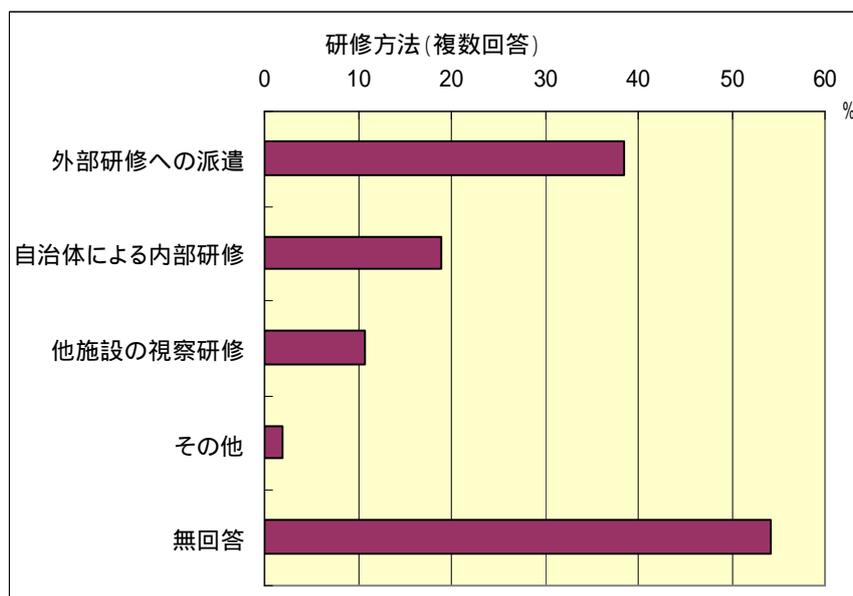
図 87



研修を実施している場合の対象者（重複回答）については、新任職員が 26.5%、中堅職員が 31.2%、ボランティアが 2.0%、その他が 12.0%となっている。

(7) 研修方法

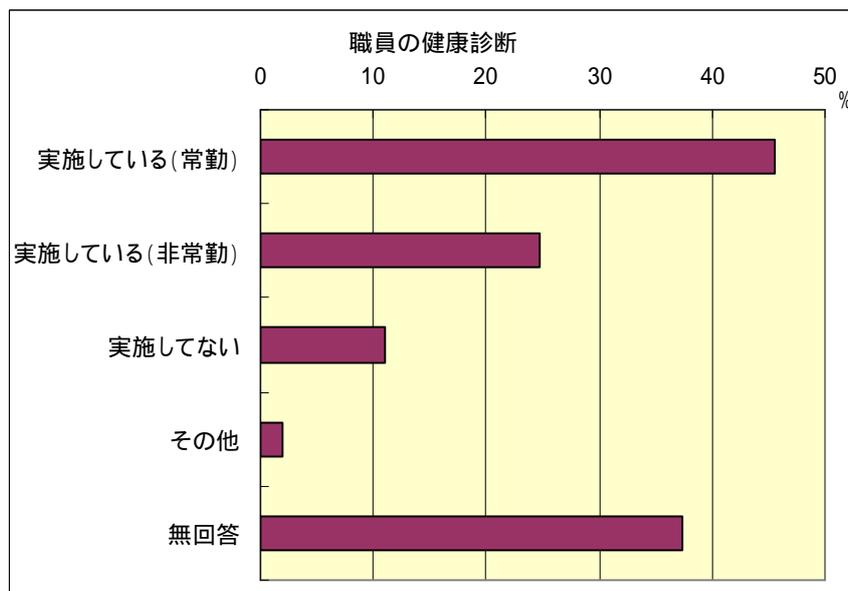
図 88



実施している研修方法については、外部研修への派遣が 38.6%で最も多く、次いで自治体による内部研修が 18.9%、他施設への視察研修が 10.8%、その他が 2.0%である。

(8) 職員に対する健康診断

図 89



職員に対する健康診断の実施状況については、常勤職員に対して実施しているが 45.6%、非常勤職員に対して実施しているが 24.7%、実施していないが 11.1%、その他が 2.0%となっている。